

平成30年度三重県公営企業会計（病院事業庁）

決算審査意見書

令和元年9月

三重県監査委員



監 査 第 29 号  
令和元年 9 月 10 日

三重県知事 鈴木 英 敬 様

三重県監査委員 山 口 和 夫  
三重県監査委員 藤 根 正 典  
三重県監査委員 野 口 正  
三重県監査委員 内 田 典 夫

平成 30 年度企業会計決算の審査について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定に基づき令和元年 5 月 31 日付け総務第 07-42 号  
で審査に付されたこのことについて、別添のとおり意見書を提出します。



## 目 次

第1 審 査 の 概 要 .....	1
1 審 査 の 対 象 .....	1
2 審 査 の 手 続 .....	1
第2 審 査 の 結 果 及 び 意 見 .....	2
1 審 査 の 結 果 .....	2
2 審 査 の 意 見 .....	2
第3 経 営 の 概 要 .....	8
1 事 業 の 概 況 .....	8
2 患 者 数 の 状 況 .....	8
3 決 算 の 状 況 .....	9
第4 病 院 別 の 状 況 .....	19
1 こころの医療センター .....	19
2 一 志 病 院 .....	23
3 志 摩 病 院 .....	27
第5 決 算 諸 表 .....	30



# 平成30年度三重県公営企業会計（病院事業庁）決算審査意見書

## 第1 審査の概要

### 1 審査の対象

平成30年度 三重県病院事業

### 2 審査の手続

平成30年度三重県病院事業会計の決算審査は、知事から提出された決算書類の内容について、

- (1) 決算の計数は正確であるか
- (2) 決算諸表は、経営成績及び財政状態を適正に表示しているか
- (3) 予算は、計画的かつ効率的に執行されているか
- (4) 事業経営は、常に経済性の発揮及び公共の福祉を増進するよう運営されているか

などを重点に、会計諸帳票、証拠書類との照合精査を行うとともに、必要な資料の提出を求め、関係当局の説明を聴取し、併せて定期監査、例月出納検査等の結果を参考に、慎重に審査を行った。

## 第2 審査の結果及び意見

### 1 審査の結果

三重県病院事業庁が経営している病院事業の決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令に則り、病院事業庁会計規程に基づいて作成されており、その計数は正確であり、経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められる。

また、事業の経営については、以下の意見のとおり留意又は改善を要するものを除き、概ね適正に処理されているものと認められる。

### 2 審査の意見

#### (1) 平成30年度決算と中期経営計画に基づく病院事業の運営について

平成30年度病院事業会計の経常損益及び純損益は、いずれも約7,533万円の赤字となり、29年度決算に比べ約1億545万円悪化している。これは、経常損益では平成25年度以来5年ぶり、純損益では26年度以来4年ぶりの赤字であり、「三重県病院事業 中期経営計画（改定版）（平成29年度～平成32年度）」（以下「中期経営計画」という。）における30年度の収支計画を約6,151万円下回っている。

さらに、依然として、約92億円の当年度未処理欠損金（累積欠損金）もあり、厳しい経営状況にあることから、医業収益の増加を図るなど、経営の健全化に努められたい。

また、中期経営計画に基づき、各年度における成果目標等の進捗管理を行っているが、目標未達成の項目が多くあるため、各病院がそれぞれの役割・機能を十分に発揮できるよう、引き続き、計画の着実な推進を図られたい。

なお、平成30年度の各病院の収支状況及び留意事項については、次のとおりである。

収益的収支の状況

（単位：千円）

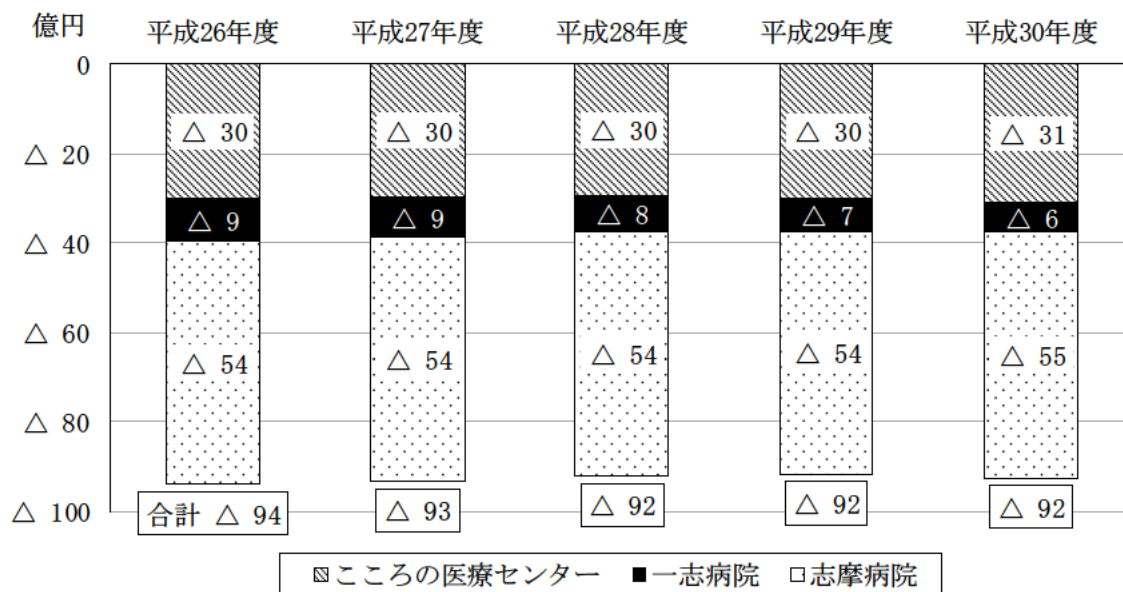
病院名等	区分	平成30年度	平成29年度	比較増減	中期経営計画 平成30年度 収支計画
こころの医療 センター	医業損益	△ 1,014,100	△ 972,826	△ 41,274	△ 813,413
	経常損益	△ 94,137	△ 74,558	△ 19,579	42,044
	純損益	△ 94,137	△ 74,558	△ 19,579	42,044
一志病院	医業損益	△ 239,823	△ 241,869	2,046	△ 316,500
	経常損益	82,730	91,345	△ 8,615	9,610
	純損益	82,730	91,345	△ 8,615	9,610
志摩病院	医業損益	△ 912,249	△ 977,076	64,827	△ 820,230
	経常損益	△ 63,926	13,332	△ 77,258	△ 65,478
	純損益	△ 63,926	13,332	△ 77,258	△ 65,478
県立病院課	医業損益	△ 105,055	△ 100,363	△ 4,691	△ 103,225
合計	医業損益	△ 2,271,227	△ 2,292,135	20,908	△ 2,053,368
	経常損益	△ 75,334	30,119	△ 105,452	△ 13,824
	純損益	△ 75,334	30,119	△ 105,452	△ 13,824

(注) 1 医業損益は、医業収益から医業費用を差し引いたもの。経常損益は、医業損益に医業外収益を加えて医業外費用を差し引いたもの。純損益は、経常損益に特別利益を加えて特別損失を差し引いたもの。なお、志摩病院は指定管理者の収支を含んでいない。

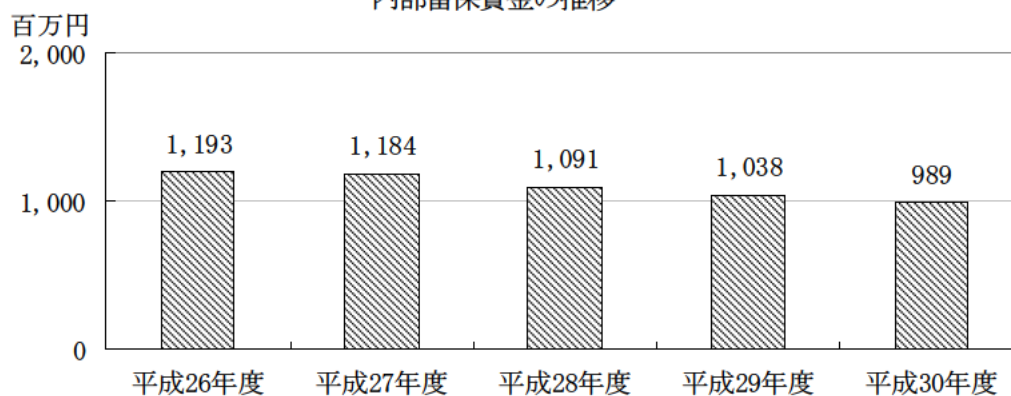
2 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。



### 各年度未処理欠損金（累積欠損金）の推移



### 内部留保資金の推移



(注) 内部留保資金

現金預金及び1年以内に資金の収入が見込まれる流動資産(貸倒引当金を除く)から、1年以内に資金の支出が見込まれる流動負債(企業債・引当金を除く)を差し引いたもので、資金繰りの状況を示す数値。

## ア こころの医療センター

経常損益、純損益とも約9,414万円の赤字となり、前年度に比べいずれも約1,958万円悪化し、2年連続の赤字となった。また、これは、中期経営計画における平成30年度の収支計画を約1億3,618万円下回るものである。

平成30年度から進めている経営改善プロジェクトの取組により、入院収益の増加など一部で改善も見られるものの、さらに新規入院患者の確保やデイケアサービスの充実により外来患者の増加に繋げることで医業収益の増加に努めるとともに、経費等の医業費用の削減を行うなど、より一層、経営の健全化に取り組まれない。

さらに、今後も「入院医療中心から地域生活支援中心へ」という精神科医療の方向性を踏まえ、精神科医療の中核病院としての役割を担いながら、多様な医療ニーズに応じたきめ細かなサービスの提供に努められたい。

## イ 一志病院

経常損益、純損益とも約8,273万円の黒字となり、前年度に比べいずれも約862万円減少しているものの、中期経営計画における平成30年度の収支計画を約7,312万円上回っており、引き続き、健全な経営に努められたい。

また、過疎化、高齢化が進み、住民の医療ニーズがより一層高まっている中、幅広い臨床能力を有する総合診療医の育成拠点施設としての役割を果たすとともに、総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの実践に取り組むなど、引き続き、地域に最適な医療サービスの安定的な提供に努められたい。

## ウ 志摩病院

志摩病院では、平成24年度に指定管理者制度を導入して以降、県と指定管理者の基本協定（平成24年度～令和3年度）に基づく病院運営を行い、7年が経過した。この間、稼働病床の段階的増床や内科系救急における24時間365日の受入体制などを実現しているが、外科系における救急受入体制の回復や一部診療科における常勤医師の配置が進んでおらず、さらに前年度と比べても常勤医師数が減少している。

このような状況を踏まえ、指定管理者と十分な連携を図り、常勤医師の確保やさらなる救急受入体制の拡充など診療機能の充実強化に取り組むとともに、回復期機能も有する地域の中核病院としての役割を果たすよう努められたい。

【参考】

1 指定管理者による志摩病院運営の収支（決算額）

（単位：百万円）

	平成30年度	平成29年度	比較増減	主な増減理由
I 事業収益	3,322	3,476	△ 154	
医業収益	3,242	3,399	△ 157	
入院診療収益	2,338	2,504	△ 166	○延べ患者数の減 △8,826人
外来診療収益	904	895	9	○診療報酬単価の増 ※延べ患者数：△1,930人
医業外収益	80	76	4	
II 事業外収益	577	571	6	
収益計 A	3,899	4,047	△ 148	
III 事業費用	4,050	4,112	△ 62	
うち給与費	2,238	2,232	6	
うち設備関係費	345	423	△ 78	○企業債償還金の減少に伴う負担金の減 △ 80百万円
IV 事業外費用	6	5	1	
費用計 B	4,056	4,117	△ 61	
経常利益(A-B)	△ 156	△ 69	△ 87	

（出典）三重県病院事業庁提出資料

- （注）1 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。  
2 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

2 志摩病院における政策的医療交付金、経営基盤強化交付金の推移

（単位：千円）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
政策的医療交付金 （指定管理料）	450,247	465,881	474,816	481,948	485,780	516,680	524,630
経営基盤強化交付金 （赤字補てん）	541,343	458,628	401,917	220,354	251,856	134,284	69,287
うち当年度分 （当初交付額）	541,343	434,851	382,408	184,137	94,859	0	0
うち前年度分 （追加交付額）	-	23,777	19,509	36,217	156,997	134,284	69,287
合 計	991,590	924,509	876,733	702,302	737,636	650,964	593,917

- （注）1 経営基盤強化交付金（赤字補てん）は、指定管理者の決算確定後に経常損失額から当初交付額を差し引いた額を翌年度に追加交付しているため、当該年度の当初交付額と翌年度の追加交付額を合計した額が当該年度の赤字補てん額となる。  
2 県と指定管理者の基本協定（平成24年度～令和3年度）では、「平成29年度以降において、当該経常損失が生じた場合は、甲（注：県）及び乙（注：指定管理者）が協議するもの」としている。

### 3 志摩病院における救急患者の受入体制（令和元年5月現在）

	区分	月	火	水	木	金	土	日	祝
内科系	昼間（8:30～17:00）	○	○	○	○	○	○	○	○
	準夜間（17:00～22:30）	○	○	○	○	○	○	△	○
	深夜（22:30～8:30）	○	○	○	○	○	○	△	○

※△は心肺停止患者及び在宅病診連携患者（看取り期の在宅患者）に限定して対応

外科系	昼間（8:30～17:00）	○	○	○	○	○	○	○	○
	準夜間（17:00～22:30）	○			○	○	△		
	深夜（22:30～8:30）					△	△		

※△は隔週で対応

（出典）三重県病院事業庁 令和元年5月 例月出納検査追加説明資料

（注）基本協定では、「平成26年度以降の24時間365日体制の整備を目標とする。診療時間外の救急外来については、指定管理開始後3年を目指して内科系、外科系それぞれ1名の医師を配置し、診療体制の回復に努める。」としている。

### 4 常勤医師数の推移

診療科等	県直営		指定管理							(単位：人)	
	H24.3	H24.4	H25.4	H26.4	H27.4	H28.4	H29.4	H30.4	H31.4		
内科および救急・総合診療科	5	7	11	17	11	14	14	11	10		
外科	3	4	3	3	3	3	3	3	3		
整形外科	3	2	2	2	2	2	2	2	2		
脳神経外科	1	1	1	0	0	0	0	0	0		
眼科	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
小児科	0	0	1	1	1	1	1	1	0		
東洋医学・皮膚科	0	0	0	1	1	1	1	1	1		
泌尿器科	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
精神科	3	3	3	3	2	2	2	2	2		
放射線科	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
緩和ケア	2	2	0	0	0	0	0	0	0		
小計	20	22	24	30	23	26	26	24	22		
初期研修医	1	2	2	2	3	4	2	2	4		
合計	21	24	26	32	26	30	28	26	26		

（出典）三重県病院事業庁提出資料

（注）基本協定では、「小児科及び産婦人科の入院診療体制は、指定管理運営開始から3年後を目標に常勤医師の確保に努める。」「政策的医療をより充実させるため、常勤医師41名体制を目標とし、さらなる医師確保に努める。」としている。

## (2) 未収金の回収と発生防止について

平成 30 年度末における病院事業庁全体の診療費自己負担金の未収金（過年度収入未済額）は、前年度に比べ約 796 万円減少し、約 6,822 万円となっている。

未収金の回収については、電話督促、催告書等送付及び臨戸訪問を行い、回収困難案件については弁護士法人に回収委託を行うとともに、関係機関と連携した生活困窮者に対する経済的支援制度の申請支援などに取り組み、約 939 万円を回収している。引き続き、回収に向けての取組を進められたい。

また、未収金の新規発生額は、前年度に比べ約 479 万円減少したものの、約 377 万円発生しているため、引き続き、未収金の発生防止に取り組みたい。

### 診療費自己負担金の過年度未収金

(単位：千円)

病 院 名	平成30年度末 (A)		平成29年度末 (B)		比較増減 (A)-(B)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
こころの医療センター	301	50,051	320	53,708	△ 19	△ 3,657
一 志 病 院	17	669	21	1,044	△ 4	△ 375
志 摩 病 院	139	17,496	160	21,419	△ 21	△ 3,924
合 計	457	68,216	501	76,172	△ 44	△ 7,956

(注) 1 志摩病院分は、指定管理者による運営に移行する以前の未収金（平成24年3月31日までに発生したもの）であり、本庁（県立病院課）が所管している。

2 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

### 未収金増減の内訳

(単位：千円)

病院名	平成30年度 (A)				平成29年度 (B)				比較増減 (A)-(B)			
	新規発生 (a)	回収 (b)	不納欠損 (c)	計 (a-b-c)	新規発生 (a)	回収 (b)	不納欠損 (c)	計 (a-b-c)	新規発生 (a)	回収 (b)	不納欠損 (c)	計 (a-b-c)
こころの医療センター	3,671	5,507	1,821	△ 3,657	8,239	3,755	0	4,484	△ 4,568	1,752	1,821	△ 8,141
一志病院	100	475	0	△ 375	317	240	0	77	△ 217	235	0	△ 452
志摩病院	0	3,409	514	△ 3,924	0	3,712	1,507	△ 5,219	0	△ 303	△ 993	1,295
合 計	3,771	9,392	2,335	△ 7,956	8,556	7,708	1,507	△ 658	△ 4,785	1,684	829	△ 7,298

(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

### 第3 経営の概要

#### 1 事業の概況

病院事業は、病院事業庁が総合医療センター、こころの医療センター、一志病院及び志摩病院の4病院を運営してきたが、平成24年4月からは、総合医療センターが地方独立行政法人に移行したことから3病院になったほか、志摩病院については指定管理者制度を導入している。

3病院の許可病床数は、平成30年度末時点で計770床である。こころの医療センターは、許可病床数、稼働病床数ともに348床である。一志病院は、許可病床数は86床であるが、療養病床全40床が休床となっており、稼働病床数は一般病床46床である。志摩病院は、許可病床数が336床であるが、一般病床52床が休床となっており、稼働病床数は一般病床184床及び精神病床100床の合計284床である。

#### 県立病院の概要

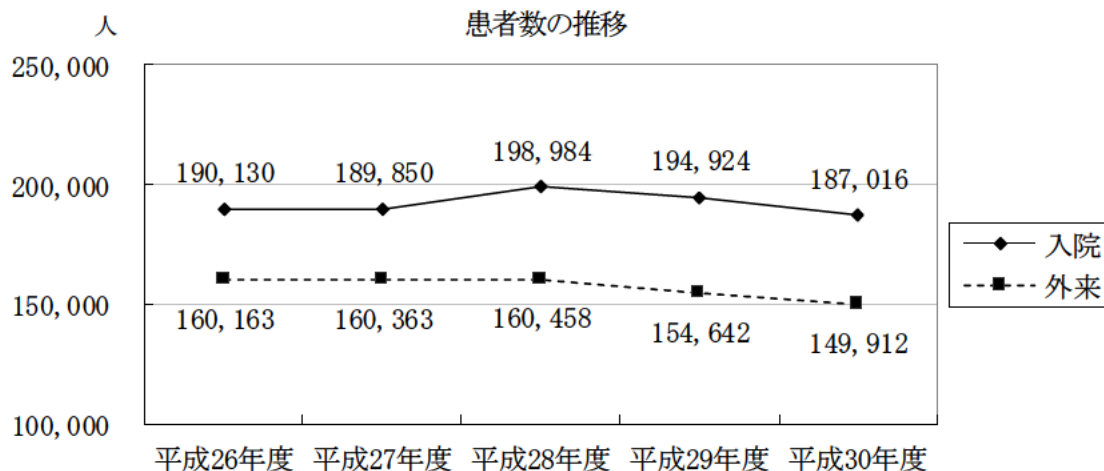
平成31年3月31日現在

病院名		こころの医療センター	一志病院	志摩病院
診療科目 (平成30年度 休診中のものを 除く)		精神科、内科、歯科 (内科・歯科は入院患者 にのみ対応)	内科、外科、眼科	内科、循環器科、外科、 脳神経外科、小児科、 産婦人科、整形外科、 皮膚科、泌尿器科、 眼科、耳鼻いんこう科、 精神科、神経内科、 放射線科
許可 病床 数	一 般		46 (46)	236 (184)
	療 養		40 ( 0)	
	精 神	348 (348)		100 (100)
	計	348 (348)	86 (46)	336 (284)

(注) 許可病床数の( )は、稼働病床数

#### 2 患者数の状況

平成30年度の入院患者数は延べ187,016人(1日平均512人)で、前年度に比べ7,908人減少し、外来患者数は延べ149,912人(1日平均614人)で、前年度に比べ4,730人減少している。



### 3 決算の状況

#### (1) 予算の執行状況

##### ア 収益的収入及び支出

##### 収 入

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	予算額に対する 決算額の増減 (B)-(A)	収入歩合 (B)/(A)
病院事業収益	5,239,035,000	5,229,914,682	△ 9,120,318	99.8%
医業収益	2,814,542,000	2,806,814,923	△ 7,727,077	99.7%
医業外収益	2,424,493,000	2,423,099,759	△ 1,393,241	99.9%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

##### 支 出

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	不用額 (A)-(B)	執行率 (B)/(A)
病院事業費用	5,336,832,000	5,302,814,291	34,017,709	99.4%
医業費用	5,168,122,000	5,136,069,381	32,052,619	99.4%
医業外費用	168,710,000	166,744,910	1,965,090	98.8%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

- ① 病院事業収益の決算額が予算額に対し 912 万 318 円下回っているのは、主に  
こころの医療センターにおける入院及び外来収益の減少等による医業収益の減に  
よる。
- ② 病院事業費用の決算額が予算額に対し 3,401 万 7,709 円下回っているのは、主に  
給与費、経費（主に修繕費、委託費）等の医業費用の執行残による。

## イ 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	予算額に対する 決算額の増減 (B)-(A)	収入歩合 (B)/(A)
資本的収入	1,495,273,000	1,488,773,000	△ 6,500,000	99.6%
企業債	521,000,000	514,500,000	△ 6,500,000	98.8%
県費負担金	371,873,000	371,873,000	0	100.0%
固定資産売却代金	2,400,000	2,400,000	0	100.0%
短期貸付金返還金	600,000,000	600,000,000	0	100.0%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税は課されていない。

支 出

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	繰越額(C)	不用額 (A)-(B)-(C)	執行率 (B)/(A)
資本的支出	1,878,714,200	1,871,859,009	0	6,855,191	99.6%
建設改良費	539,876,200	533,022,910	0	6,853,290	98.7%
企業債償還金	648,238,000	648,236,099	0	1,901	100.0%
長期借入金償還金	90,000,000	90,000,000	0	0	100.0%
長期貸付金	600,000	600,000	0	0	100.0%
短期貸付金	600,000,000	600,000,000	0	0	100.0%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

- ① 資本的収入の決算額が予算額に対し650万円下回っているのは、企業債の借入額の減による。
- ② 資本的支出の決算額が予算額に対し685万5,191円下回っているのは、主に病院増改築工事費等の建設改良費の執行残による。
- ③ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額3億8,308万6,009円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額196万7,710円及び過年度分損益勘定留保資金3億8,111万8,299円で補てんしている。



## (2) 経営成績

病院事業の収益的収支

(単位：円)

科目	平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
総収益	5,218,698,993	5,336,525,962	△ 117,826,969	97.8%
医業収益	2,796,754,084	2,765,971,910	30,782,174	101.1%
医業外収益	2,421,944,909	2,570,554,052	△ 148,609,143	94.2%
総費用	5,294,032,618	5,306,407,438	△ 12,374,820	99.8%
医業費用	5,067,980,892	5,058,106,411	9,874,481	100.2%
医業外費用	226,051,726	248,301,027	△ 22,249,301	91.0%
医業損益	△ 2,271,226,808	△ 2,292,134,501	20,907,693	-
経常損益	△ 75,333,625	30,118,524	△ 105,452,149	-
純損益	△ 75,333,625	30,118,524	△ 105,452,149	-

平成30年度の総収益は52億1,869万8,993円で、前年度に比べ1億1,782万6,969円減少している。これは主に、志摩病院の指定管理者負担金の減等による医業外収益の減による。

総費用は52億9,403万2,618円で、前年度に比べ1,237万4,820円減少している。これは主に、長期前払消費税償却の減等による医業外費用の減による。

この結果、純損益は7,533万3,625円の赤字となり、前年度に比べ1億545万2,149円悪化している。

なお、病院別の純損益は、こころの医療センターが9,413万7,127円の赤字、一志病院が8,272万9,524円の黒字、志摩病院が6,392万6,022円の赤字となっている。

病院別純損益の状況

(単位：円)

病院名等	総収益(A)	総費用(B)	純損益(A)-(B)
こころの医療センター	3,160,115,342	3,254,252,469	△ 94,137,127
一志病院	1,019,344,804	936,615,280	82,729,524
志摩病院	933,603,457	997,529,479	△ 63,926,022
県立病院課	105,635,390	105,635,390	0
合計	5,218,698,993	5,294,032,618	△ 75,333,625

病院別純損益の推移

(単位：百万円)

病院名	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
こころの医療センター	△ 1,039	51	26	△ 75	△ 94
一志病院	△ 264	27	88	91	83
志摩病院	△ 23	△ 4	△ 2	13	△ 64
合計	△ 1,325	75	112	30	△ 75

(注) 1 四捨五入のため、合計額が合わない場合がある。

2 平成26年度に多額の純損失を計上しているのは、地方公営企業会計基準の見直しに伴い、退職給付引当金等の特別損失を計上したことによる。

### (3) 一般会計繰入金

(単位：円)

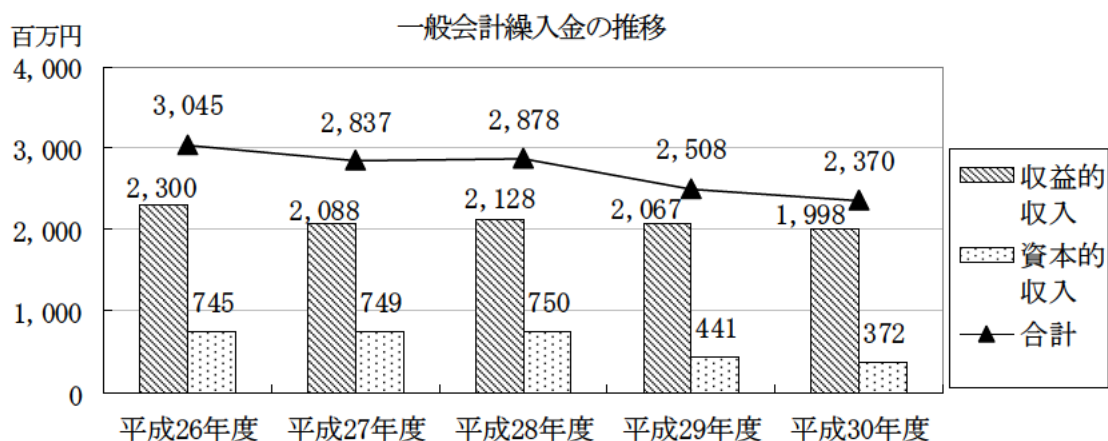
病院名等	区分	平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
こころの 医療センター	収益的収入	940,462,000	936,081,000	4,381,000	100.5%
	資本的収入	221,189,000	212,820,000	8,369,000	103.9%
	計	1,161,651,000	1,148,901,000	12,750,000	101.1%
一志病院	収益的収入	326,621,000	338,350,000	△ 11,729,000	96.5%
	資本的収入	13,038,000	12,184,000	854,000	107.0%
	計	339,659,000	350,534,000	△ 10,875,000	96.9%
志摩病院	収益的収入	625,840,000	690,989,000	△ 65,149,000	90.6%
	資本的収入	136,633,000	214,993,000	△ 78,360,000	63.6%
	計	762,473,000	905,982,000	△ 143,509,000	84.2%
県立病院課	収益的収入	104,726,000	101,676,000	3,050,000	103.0%
	資本的収入	1,013,000	1,013,000	0	100.0%
	計	105,739,000	102,689,000	3,050,000	103.0%
合計	収益的収入	1,997,649,000	2,067,096,000	△ 69,447,000	96.6%
	資本的収入	371,873,000	441,010,000	△ 69,137,000	84.3%
	計	2,369,522,000	2,508,106,000	△ 138,584,000	94.5%

- (注) 1 収益的収入：病院運営に係る政策的医療及び不採算医療等に要する経費の繰入金  
2 資本的収入：建設改良に要する経費の繰入金

救急医療の確保、特殊医療に要する経費など、経営による収入をもって充てることが適当でない経費等については、総務省から繰出し基準が示されており、これに基づき一般会計から繰入が行われている。

平成30年度の収益的収入の繰入金は、19億9,764万9,000円で、前年度に比べ6,944万7,000円減少している。これは主に、志摩病院の指定管理者に交付する経営基盤強化交付金に対する繰入金の減による。

資本的収入の繰入金は、3億7,187万3,000円で、前年度に比べ6,913万7,000円減少している。これは主に、志摩病院の一般病棟建設に係る企業債の償還終了による繰入金の減による。



#### (4) 剰余金計算書

(単位：円)

区分	平成29年度末 残高	平成29年度 処分額	平成30年度 変動額	平成30年度末 残高
資本金	311,409,778	0	0	311,409,778
剰余金	△ 7,794,433,325	0	△ 75,333,625	△ 7,869,766,950
資本剰余金	1,371,553,972	0	0	1,371,553,972
受贈財産評価額	12,053,972	0	0	12,053,972
補助金	0	0	0	0
県費負担金	1,359,500,000	0	0	1,359,500,000
その他資本剰余金	0	0	0	0
利益剰余金	△ 9,165,987,297	0	△ 75,333,625	△ 9,241,320,922
未処分利益剰余金 (△は未処理欠損金)	△ 9,165,987,297	0	△ 75,333,625	△ 9,241,320,922
資本合計	△ 7,483,023,547	0	△ 75,333,625	△ 7,558,357,172

① 資本金の平成 30 年度末残高は、変動がなかったため、29 年度末残高と同額の 3 億 1,140 万 9,778 円となっている。

② 剰余金の平成 30 年度末残高は、29 年度末残高△77 億 9,443 万 3,325 円から未処理欠損金により 7,533 万 3,625 円減少し、△78 億 6,976 万 6,950 円となっている。

なお、未処理欠損金の平成 30 年度末残高は、29 年度末残高 91 億 6,598 万 7,297 円から 30 年度の純損失分 7,533 万 3,625 円が増加し、92 億 4,132 万 922 円となっている。

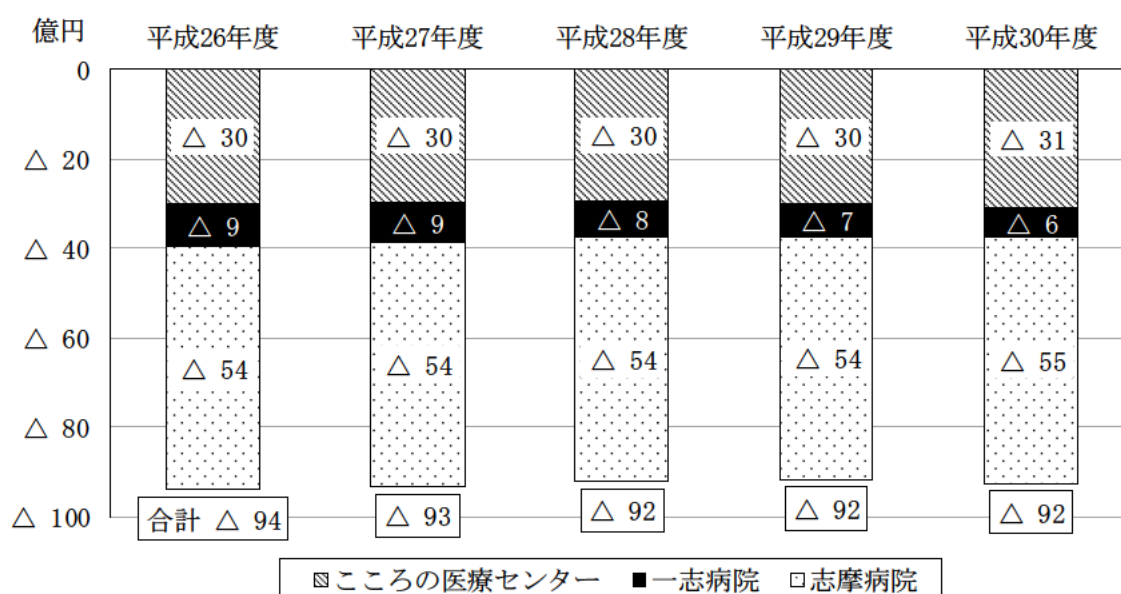
(5) 欠損金処理計算書

(単位：円)

区分	平成30年度末残高	欠損金処理額	処理後残高
資本金	311,409,778	0	311,409,778
欠損金	△ 7,869,766,950	0	△ 7,869,766,950
資本剰余金	1,371,553,972	0	1,371,553,972
未処理欠損金	△ 9,241,320,922	0	△ 9,241,320,922

未処理欠損金 92 億 4,132 万 922 円は、その全額を翌年度へ繰り越している。

各年度未処理欠損金（累積欠損金）の推移（再掲）



平成30年度末の未処理欠損金（累積欠損金）の残高は、92 億 4,132 万 922 円で、その内訳は、こころの医療センターが31 億 2,250 万 2,612 円、一志病院が6 億 3,703 万 2,398 円、志摩病院が54 億 8,178 万 5,912 円となっている。

## (6) 財政状態

## ア 貸借対照表

(単位：円)

科目	平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
固定資産	8,727,005,599	8,793,601,528	△ 66,595,929	99.2%
流動資産	1,262,893,260	1,450,317,388	△ 187,424,128	87.1%
資産合計	9,989,898,859	10,243,918,916	△ 254,020,057	97.5%
固定負債	13,213,841,399	13,430,538,332	△ 216,696,933	98.4%
流動負債	1,190,490,633	1,290,549,284	△ 100,058,651	92.2%
繰延収益	3,143,923,999	3,005,854,847	138,069,152	104.6%
負債合計	17,548,256,031	17,726,942,463	△ 178,686,432	99.0%
資本金	311,409,778	311,409,778	0	100.0%
剰余金	△ 7,869,766,950	△ 7,794,433,325	△ 75,333,625	-
資本合計	△ 7,558,357,172	△ 7,483,023,547	△ 75,333,625	-
負債・資本合計	9,989,898,859	10,243,918,916	△ 254,020,057	97.5%

## (7) 固定資産

決算額は87億2,700万5,599円で、前年度に比べ6,659万5,929円(0.8%)減少している。これは主に、施設・設備の減価償却による。

## (イ) 流動資産

決算額は12億6,289万3,260円で、前年度に比べ1億8,742万4,128円(12.9%)減少している。これは主に、現金預金の減による。

## (ロ) 固定負債

決算額は132億1,384万1,399円で、前年度に比べ2億1,669万6,933円(1.6%)減少している。これは主に、建設改良の財源に充てる企業債の償還による。

## (ハ) 流動負債

決算額は11億9,049万633円で、前年度に比べ1億5万8,651円(7.8%)減少している。これは主に、医療機器購入に係る未払金の減による。

## (ニ) 繰延収益

決算額は31億4,392万3,999円で、前年度に比べ1億3,806万9,152円(4.6%)増加している。これは主に、企業債の償還に伴う県費負担金の増による。

## (ホ) 資本金

決算額は3億1,140万9,778円で、前年度と同額である。

## (ヘ) 剰余金

決算額は△78億6,976万6,950円で、前年度に比べ7,533万3,625円未処理欠損金が増加している。これは、純損失が生じたことによる。

## イ 経営分析

項目		平成30年度	平成29年度	(参考) 平成29年度 全国平均	算式
資産・資本	自己資本構成比率 (%)	△ 44.2	△ 43.7	22.3	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$
	固定資産対長期資本比率 (%)	99.2	98.2	90.9	$\frac{\text{固定資産}}{\text{(固定負債+自己資本)}} \times 100$
	流動比率 (%)	106.1	112.4	149.6	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
回転率	固定資産回転率 (回)	0.34	0.34	0.69	$\frac{\text{医業収益}}{\text{(期首固定資産+期末固定資産)/2}}$
	未収金回転率 (回)	6.17	5.87	5.45	$\frac{\text{医業収益}}{\text{(期首未収金+期末未収金)/2}}$
収益	総資本経常利益率 (%)	△ 0.74	0.29	0.73	$\frac{\text{経常利益}}{\text{(期首総資本+期末総資本)/2}} \times 100$
	経常収支比率 (%)	98.6	100.6	98.8	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
	職員1人あたり医業収益 (千円)	9,515	9,502	16,229	$\frac{\text{医業収益}}{\text{損益勘定職員数}}$

- (注) 1 自己資本＝資本金＋剰余金＋繰延収益  
 2 総資本＝負債・資本合計  
 3 損益勘定職員数＝医業活動に従事する職員数  
 4 平成29年度全国平均は、「平成29年度地方公営企業年鑑（総務省自治財政局編）」の都道府県立病院の平均値

### (フ) 自己資本構成比率

総資本に対する自己資本の割合を示し、割合が高いほど財政基盤が安定していることを表す。全国平均より低い。

### (イ) 固定資産対長期資本比率

固定資産が長期の資金で調達されている割合を示し、100%以下であることが望ましく、割合が低いほど財政の健全性が高いことを表す。全国平均より高い。

### (ロ) 流動比率

1年以内の短期的な支払能力を示し、100%を上回ることが必要であり、割合が高いほど経営の安全性が高いことを表す。全国平均より低い。

### (エ) 固定資産回転率

固定資産がどの程度経営活動に利用されているかを示し、割合が高いほど固定資産が有効に利用されていることを表す。全国平均より低い。

### (オ) 未収金回転率

未収金に対する医業収益の割合を示し、一般的に割合が高いほど未収期間が短く、早期に回収されていることを表す。全国平均より高い。

### (カ) 総資本経常利益率

総資本（負債・資本合計）の投入によりどれだけ経常利益を上げたかを示し、割合が高いほど総合的な収益性が高いことを表す。全国平均より低い。

(キ) 経常収支比率

経常費用に対する経常収益の割合を示し、割合が高いほど収益性が高いことを表す。全国平均より低い。

(ク) 職員 1 人あたり医業収益

職員 1 人あたりの医業収益を示し、金額が大きいほど効率性が高いことを表す。全国平均より低い。

## ウ キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

項 目	平成30年度(A)	平成29年度(B)	比較増減(A)-(B)
業務活動によるキャッシュ・フロー①	139,259,622	392,827,899	△ 253,568,277
投資活動によるキャッシュ・フロー②	△ 55,214,289	116,748,485	△ 171,962,774
財務活動によるキャッシュ・フロー③	△ 223,736,099	△ 468,604,668	244,868,569
資金増減額(①+②+③)	△ 139,690,766	40,971,716	△ 180,662,482
資金期首残高	923,724,093	882,752,377	40,971,716
資金期末残高	784,033,327	923,724,093	△ 139,690,766

業務活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費 5 億 4,521 万 9,966 円などにより、プラス 1 億 3,925 万 9,622 円となったが、前年度に比べ 2 億 5,356 万 8,277 円減少している。

投資活動によるキャッシュ・フローは、病院増改築工事に係る支出 3 億 332 万 4,760 円などにより、マイナス 5,521 万 4,289 円となり、前年度に比べ 1 億 7,196 万 2,774 円減少している。

財務活動によるキャッシュ・フローは、企業債の償還による支出 6 億 4,823 万 6,099 円などにより、マイナス 2 億 2,373 万 6,099 円となったが、前年度に比べ 2 億 4,486 万 8,569 円増加している。

この結果、平成 30 年度の資金期末残高は、資金期首残高に比べ 1 億 3,969 万 766 円減少し、7 億 8,403 万 3,327 円となった。

- (注) 1 業務活動によるキャッシュ・フロー(①)：事業本来の業務活動により、どれだけ資金の増減があったかを表す。
- 2 投資活動によるキャッシュ・フロー(②)：固定資産の取得や企業債の償還に係る一般会計繰入金を受入などにより、どれだけ資金の増減があったかを表す。
- 3 財務活動によるキャッシュ・フロー(③)：企業債の借入・償還などにより、どれだけ資金の増減があったかを表す。
- 4 一般的には①はプラス、②及び③はマイナスとなり、①の額 > (②の額+③の額) の形がキャッシュ・フローが良い循環をしているといわれる(業務活動による収入で投資や借入金返済の資金を賄っている状態)。



## 第4 病院別の状況

### 1 こころの医療センター

#### (1) 病院の概況

こころの医療センターは、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」により設置が義務づけられた県立精神科病院として、精神疾患の発生予防から医療、社会復帰までの精神医療ニーズに対応した専門医療を提供している。

特に、精神障がい者の社会復帰を積極的に促進するため、病棟の開放化、各種作業療法、デイケアを行うとともに、アルコール依存症患者及び認知症患者についても専門的な治療を行い、県の精神医療の基幹病院としての役割を果たしている。

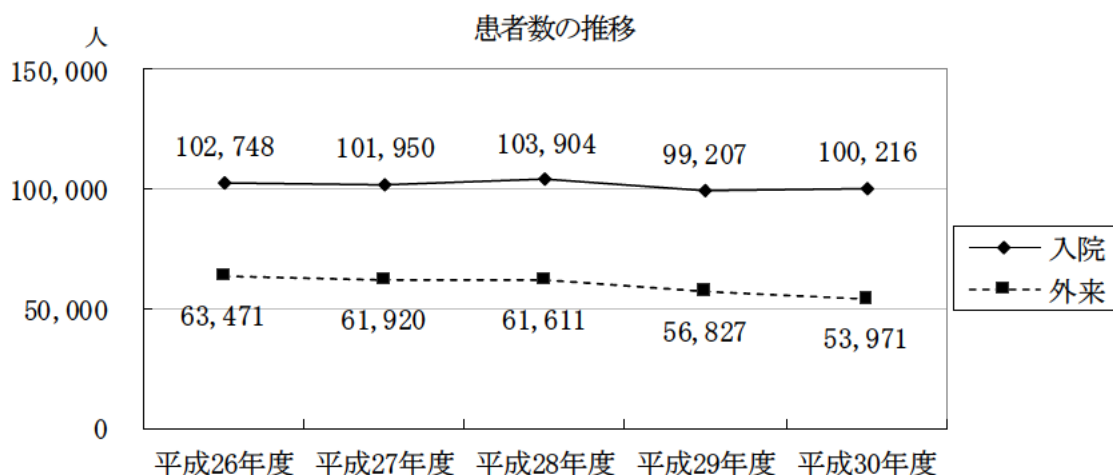
病院機能再編の取組の一環として、平成28年4月に許可病床数を400床から348床に減床しており、稼働病床数は許可病床数と同数である。

#### (2) 患者数の状況

平成30年度の延べ入院患者数は100,216人で、前年度に比べ1,009人増加している。病床利用率は78.9%で、前年度に比べ0.8ポイント増加している。

延べ外来患者数は53,971人で、前年度に比べ2,856人減少している。

項目	平成30年度(A)	平成29年度(B)	比較増減(A)-(B)
延べ入院患者数 (人)	100,216	99,207	1,009
1日平均入院患者数 (人)	275	272	3
延べ外来患者数 (人)	53,971	56,827	△ 2,856
1日平均外来患者数 (人)	221	233	△ 12
病床利用率 (%)	78.9	78.1	0.8



### (3) 経営成績

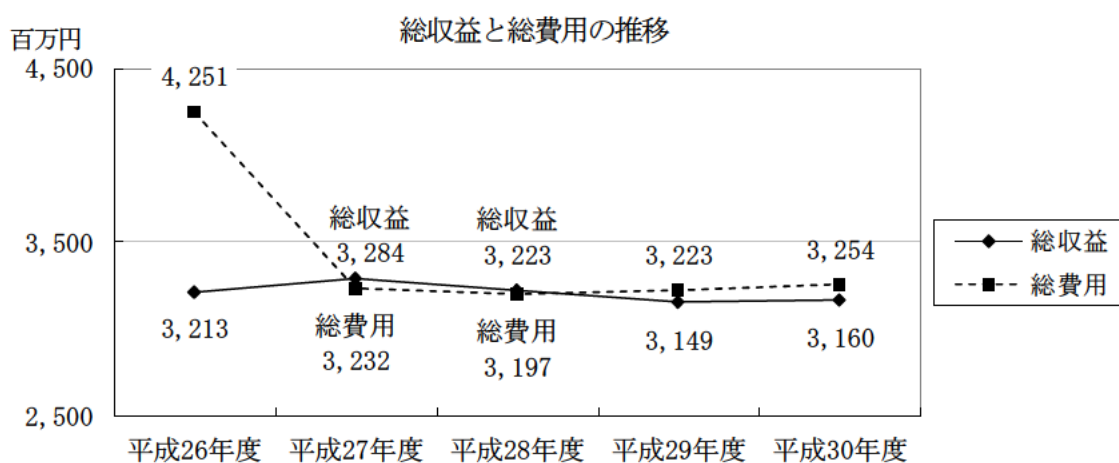
総収益は31億6,011万5,342円で、前年度に比べ1,132万5,058円増加している。これは主に、入院患者の増に伴う医業収益の増による。

総費用は32億5,425万2,469円で、前年度に比べ3,090万4,154円増加している。これは主に、給与費の増による。

この結果、純損益は9,413万7,127円の赤字となり、前年度に比べ1,957万9,096円悪化している。

(単位：円)

科目	平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
総収益	3,160,115,342	3,148,790,284	11,325,058	100.4%
医業収益	2,107,473,823	2,101,767,012	5,706,811	100.3%
医業外収益	1,052,641,519	1,047,023,272	5,618,247	100.5%
総費用	3,254,252,469	3,223,348,315	30,904,154	101.0%
医業費用	3,121,573,970	3,074,593,146	46,980,824	101.5%
医業外費用	132,678,499	148,755,169	△ 16,076,670	89.2%
経常損益	△ 94,137,127	△ 74,558,031	△ 19,579,096	-
純損益	△ 94,137,127	△ 74,558,031	△ 19,579,096	-



#### (4) 経営比較

全国の子精神科自治体病院との経営比較では、1日平均入院患者数、同外来患者数、医業収支比率及び他会計繰入金対経常収益比率について、全国平均より良い値となっている。

(ここの医療センターは30年度、全国平均は29年度での比較)

項目	平成30年度	平成29年度	平成29年度 全国平均	備考
1日平均入院患者数 (人)	275	272	182	多いほど良い
1日平均外来患者数 (人)	221	233	135	多いほど良い
患者1人1日あたり入院収益 (円)	17,425	17,468	19,583	多いほど良い
患者1人1日あたり外来収益 (円)	6,191	6,062	8,810	多いほど良い
経常収支比率 (%)	97.2	97.7	100.2	高いほど良い
医業収支比率 (%)	70.8	71.8	66.8	高いほど良い
職員給与費対医業収益比率 (%)	99.8	97.7	94.3	低いほど良い
他会計繰入金対経常収益比率 (%)	31.6	31.5	33.7	低いほど良い

(注) 1 本表の数値は、総務省決算統計データに基づき算出している。

※決算統計固有の事項(通常決算との差異)により、通常決算額や収支比率と差異が生じる。

①繰入金の一部を医業外収益ではなく医業収益に算入

②県立病院課の収入及び費用を全額2病院(ここの医療センター及び一志病院)に配賦

2 平成29年度全国平均は、「平成29年度地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)」による(精神科病院平均)。

3 経常収支比率=経常収益/経常費用

4 医業収支比率=医業収益/医業費用

5 職員給与費対医業収益比率=職員給与費/医業収益

6 他会計繰入金対経常収益比率=他会計繰入金/経常収益

(5) 中期経営計画における平成30年度の目標及び実績値

中期経営計画における目標達成状況は、次のとおりである。

目標項目		平成29年度 実績	平成30年度 目標	平成30年度 実績	
1 医療機能等の 充実に 向けた 主要な 取組	(1) 精神科救急・急性期医療の提供				
	精神科救急患者受入件数(件)	258	230	243	
	(2) 専門的医療の提供				
	①認知症治療	認知症入院患者数(人/日)	34.5	40.0	37.2
	②アルコール依存症治療	アルコール依存症入院患者数(人/日)	25.8	30.0	26.2
	③精神科早期介入・早期予防	精神科早期介入対応件数(件)	213	200	176
	(3) 地域生活を支えるための支援				
	①デイケアサービス	デイケア・ショートケア延べ患者数(人)	14,446	18,000	12,302
	②訪問看護サービス	訪問看護延べ患者数(人)	4,824	5,000	4,781
	③入院患者の退院支援	入院後1年以内の患者退院率(%)	87.9	95.0	96.2
	④関係機関等との連携	障害福祉サービス事業所等との連携取組件数(件)	4	6	6
	⑤精神疾患・障がいにかかる普及啓発	こころしっとこセミナー開催件数(件)	58	32	77
	(4) 人材育成の充実				
	①研修医・看護実習生等の受入れ	研修医・看護実習生等受入延べ人数(人)	2,391	2,200	2,347
	②職員の育成	人材育成研修回数(回)	5	5	5
	(5) 業務改善の推進				
	①危機管理対策	危機管理研修等参加率(%)	97.4	91.0	92.8
②患者満足度の向上	患者満足度(%)	83.4	92.8	81.1	
2 経営の 効率化 等に向 けた 主要な 取組	(1) 経常収支比率・医業収支比率の向上				
	経常収支比率(%)	97.7	101.3	97.1	
	医業収支比率(%)	68.4	74.4	67.5	
	(2) 患者数の確保に向けた取組				
	1日平均入院患者数(人/日)	271.8	295.0	274.6	
	1日平均外来患者数(人/日)	232.9	275.0	221.2	
	(3) 医師・看護師の確保				
医師充足率(%)	87.0	100.0	88.4		
看護師充足率(%)	100.0	100.0	100.0		

## 2 一志病院

### (1) 病院の概況

一志病院は、津市の白山及び美杉地域を中心とした診療圏において、救急医療、高齢者医療を中心とした医療サービスを提供している。地域の過疎化・高齢化に対応するため、訪問診療等の在宅療養支援を進め、健康診断や健康教室の開催など、予防医療の普及啓発にも努めている。

また、平成19年度からは、内科において患者及び地域住民の健康問題を幅広く担当する家庭医療の実践に取り組んでいる。

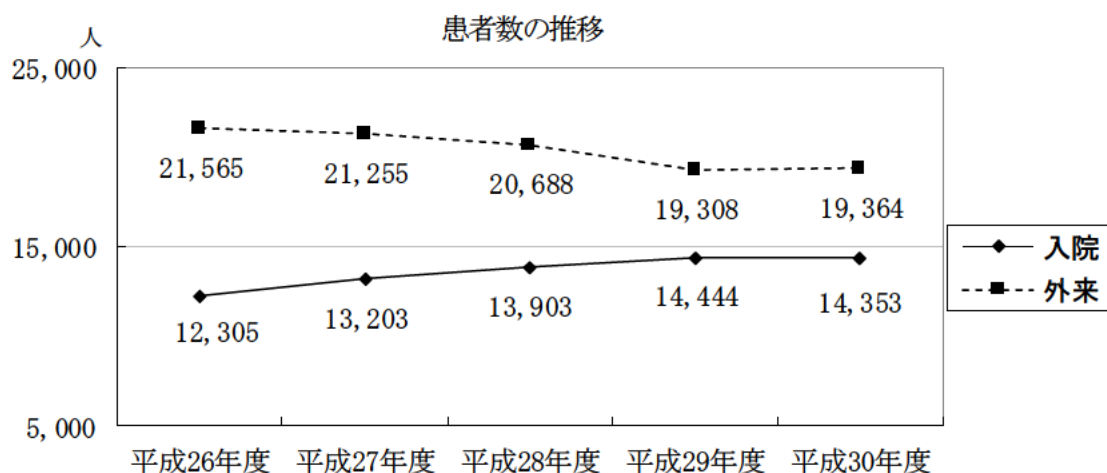
許可病床数は86床であるが、療養病床全40床は休床となっており、稼働病床数は一般病床46床である。

### (2) 患者数の状況

平成30年度の延べ入院患者数は14,353人で、前年度に比べ91人減少している。休床を含む許可病床ベースの病床利用率は45.7%で、前年度に比べ0.3ポイント減少している。また、休床を除く稼働病床ベースの病床利用率は85.5%で、前年度に比べ0.5ポイント減少している。

延べ外来患者数は19,364人で、前年度に比べ56人増加している。

項目	平成30年度(A)	平成29年度(B)	比較増減(A)-(B)
延べ入院患者数 (人)	14,353	14,444	△ 91
1日平均入院患者数 (人)	39	40	△ 1
延べ外来患者数 (人)	19,364	19,308	56
1日平均外来患者数 (人)	79	79	0
病床利用率(休床含む) (%)	45.7	46.0	△ 0.3
〃 (休床除く) (%)	85.5	86.0	△ 0.5
平均在院日数 (一般病床のみ) (日)	18.9	19.6	△ 0.7



### (3) 経営成績

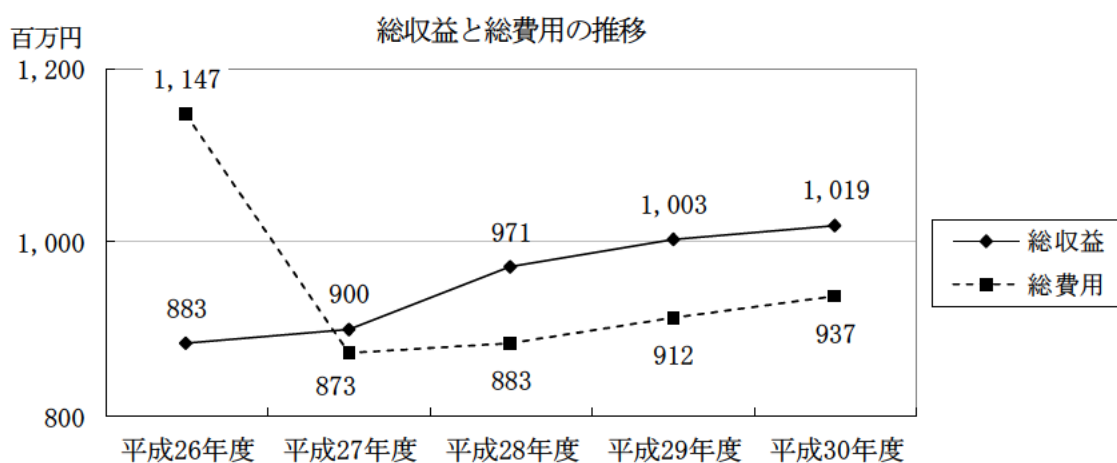
総収益は10億1,934万4,804円で、前年度に比べ1,592万5,771円増加している。  
これは主に、診療単価の増による入院収益の増による。

総費用は9億3,661万5,280円で、前年度に比べ2,454万1,215円増加している。  
これは主に、給与費の増による。

この結果、純損益は8,272万9,524円の黒字となったが、前年度に比べ861万5,444円減少している。

(単位：円)

科目	平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
総収益	1,019,344,804	1,003,419,033	15,925,771	101.6%
医業収益	676,069,128	649,443,964	26,625,164	104.1%
医業外収益	343,275,676	353,975,069	△ 10,699,393	97.0%
総費用	936,615,280	912,074,065	24,541,215	102.7%
医業費用	915,892,241	891,313,421	24,578,820	102.8%
医業外費用	20,723,039	20,760,644	△ 37,605	99.8%
経常損益	82,729,524	91,344,968	△ 8,615,444	90.6%
純損益	82,729,524	91,344,968	△ 8,615,444	90.6%



#### (4) 経営比較

同規模の病床を持つ全国自治体病院との経営比較では、患者1人1日あたりの入院収益、経常収支比率及び医業収支比率について、全国平均より良い値となっている。

(一志病院は30年度、全国平均は29年度での比較)

項目	平成30年度	平成29年度	平成29年度全国平均		備考
			50～100床	(参考) 50床未満	
1日平均入院患者数 (人)	39	40	49	24	多いほど良い
1日平均外来患者数 (人)	79	79	137	95	多いほど良い
患者1人1日あたり入院収益 (円)	27,879	26,201	23,630	20,605	多いほど良い
患者1人1日あたり外来収益 (円)	8,271	8,155	8,407	6,923	多いほど良い
経常収支比率 (%)	108.6	109.8	98.0	95.3	高いほど良い
医業収支比率 (%)	78.5	78.9	77.0	64.9	高いほど良い
職員給与費対医業収益比率 (%)	83.1	79.0	69.4	79.7	低いほど良い
他会計繰入金対経常収益比率 (%)	33.4	35.0	22.6	33.1	低いほど良い

(注) 1 本表の数値は、総務省決算統計データに基づき算出している。

※決算統計固有の事項（通常の決算との差異）により、通常の決算額や収支比率と差異が生じる。

①繰入金の一部を医業外収益ではなく医業収益に算入

②県立病院課の収入及び費用を全額2病院（こころの医療センター及び一志病院）に配賦

2 一志病院の許可病床数は86床、稼働病床数は46床

3 平成29年度全国平均は、「平成29年度地方公営企業年鑑（総務省自治財政局編）」による（50床以上100床未満（及び50床未満）の病院平均）。

4 経常収支比率＝経常収益/経常費用

5 医業収支比率＝医業収益/医業費用

6 職員給与費対医業収益比率＝職員給与費/医業収益

7 他会計繰入金対経常収益比率＝他会計繰入金/経常収益

(5) 中期経営計画における平成30年度の目標及び実績値

中期経営計画における目標達成状況は、次のとおりである。

目標項目		平成29年度 実績	平成30年度 目標	平成30年度 実績	
1 医療機能等 の充実に向 けた主要な 取組	(1) 地域医療の推進				
	①在宅療養支援	訪問診療、訪問看護等延べ患者数(人)	4,493	4,000	4,734
	②予防医療	住民健診、人間ドック、がん検診受検者数(人)	1,466	1,400	1,501
	③救急医療	救急患者受入件数(件)	1,265	1,000	1,175
	④医療過疎地域への支援	医療過疎地域等への支援件数(件)	6	7	6
	⑤関係機関等との連携	多職種連携による取組件数(件)	32	30	34
	(2) 人材育成の充実				
	①総合診療医の育成	初期研修医・医学生受入延べ人数(人)	630	600	565
	②看護実習生等の受入れ	看護実習生等受入延べ人数(人)	348	330	337
	③医療従事者の能力向上への支援	学会、研修、カンファレンス等参加率(%)	100.0	100.0	100.0
	(3) 地域医療提供体制の確保に資する研究活動の推進				
		学会、論文等発表件数(件)	43	30	40
	(4) プライマリ・ケアセンターへの支援				
		プライマリ・ケア研修会開催件数(件)	3	3	3
	(5) 業務改善の推進				
	①業務改善活動	夢プロジェクト開催回数(回)	12	12	12
	②危機管理対策	危機管理研修等参加率(%)	100.0	100.0	100.0
	③患者満足度の向上	患者満足度(%)	97.7	96.6	96.9
	2 経営の効率化等 に向けた主要な 取組	(1) 経常収支比率・医業収支比率の向上			
		経常収支比率(%)	110.0	101.0	108.8
		医業収支比率(%)	72.9	66.4	73.8
		診療報酬検討会開催回数(回)	12	12	12
(2) 患者数の確保に向けた取組					
		1日平均入院患者数(人/日)	39.6	38.0	39.3
		1日平均外来患者数(人/日)	79.1	79.0	79.4
(3) 医師・看護師の確保					
	医師充足率(%)	84.4	100.0	84.7	
	看護師充足率(%)	100.0	100.0	100.0	



### 3 志摩病院

#### (1) 病院の概況

志摩病院は、志摩地域の中核病院として、地域住民や観光客に質の高い医療サービスを提供し、二次救急医療や災害医療の中心的な役割と、へき地医療拠点病院として地域の病院や診療所を支援する役割を担っている。また、県内で数少ない精神病床を併せ持つ病院として、精神身体合併症患者への対応を行っている。

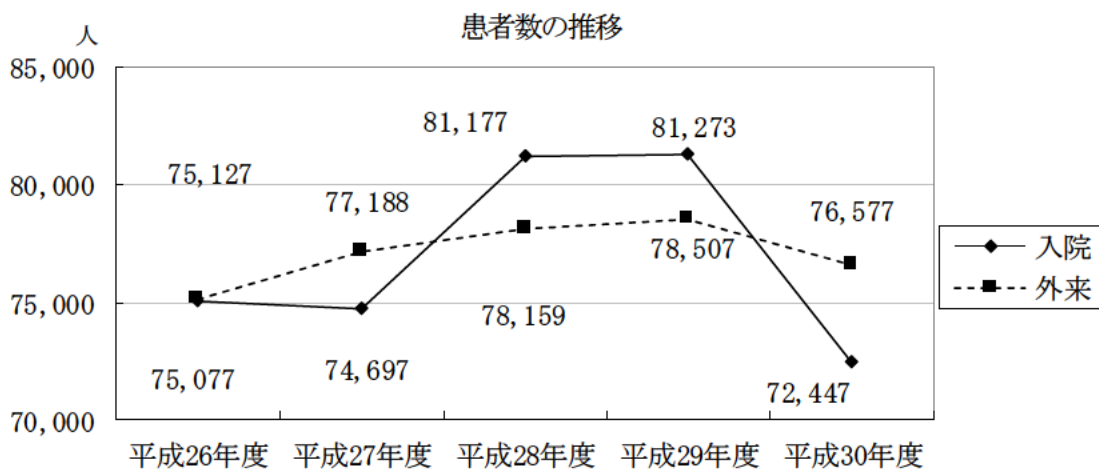
平成 24 年度から指定管理者により運営されている。許可病床数は、29 年 4 月に一般病床を 250 床から 14 床削減して 236 床とし、精神病床 100 床と合わせて 336 床となっている。なお、一般病床 52 床が休床中であり、稼働病床数は 284 床となっている。

#### (2) 患者数の状況

平成 30 年度の延べ入院患者数は 72,447 人で、前年度に比べ 8,826 人減少している。休床を含む許可病床ベースの病床利用率は 59.1%で、前年度に比べ 7.2 ポイント減少している。また、休床を除く稼働病床ベースの病床利用率は 69.9%で、前年度に比べ 8.5 ポイント減少している。

延べ外来患者数は 76,577 人で、前年度に比べ 1,930 人減少している。

項目	平成30年度(A)	平成29年度(B)	比較増減(A)-(B)
延べ入院患者数 (人)	72,447	81,273	△ 8,826
1日平均入院患者数 (人)	199	223	△ 24
延べ外来患者数 (人)	76,577	78,507	△ 1,930
1日平均外来患者数 (人)	314	322	△ 8
病床利用率(休床含む) (%)	59.1	66.3	△ 7.2
〃 (休床除く) (%)	69.9	78.4	△ 8.5
平均在院日数(精神除く) (日)	15.6	17.0	△ 1.4



### (3) 経営成績

総収益は9億3,360万3,457円で、前年度に比べ1億4,821万9,783円減少している。これは主に、指定管理者に交付する経営基盤強化交付金に係る一般会計繰入金の減による。

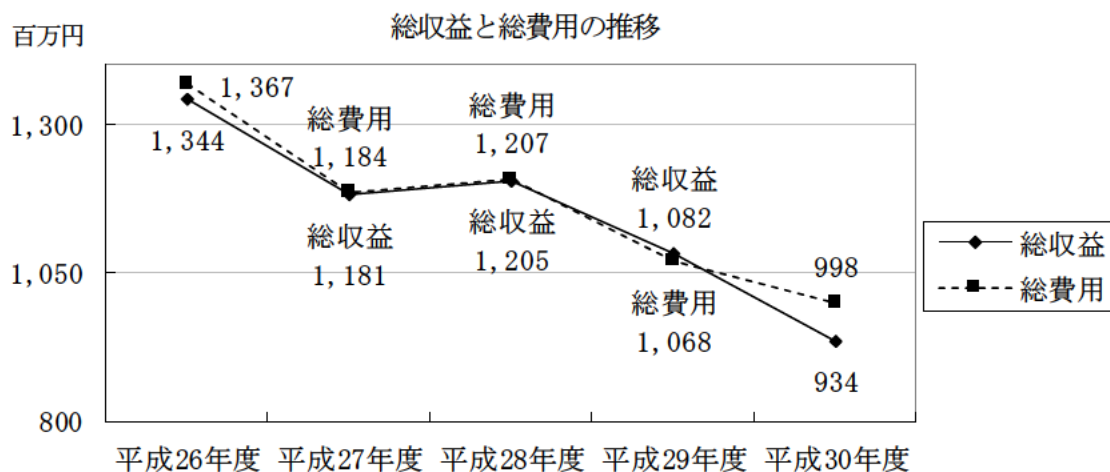
総費用は9億9,752万9,479円で、前年度に比べ7,096万2,174円減少している。これは主に、指定管理者に交付する経営基盤強化交付金の減による。

この結果、純損益は6,392万6,022円の赤字となり、前年度に比べ7,725万7,609円悪化している。

(単位：円)

科目	平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
総収益	933,603,457	1,081,823,240	△ 148,219,783	86.3%
医業収益	13,211,133	14,760,934	△ 1,549,801	89.5%
医業外収益	920,392,324	1,067,062,306	△ 146,669,982	86.3%
総費用	997,529,479	1,068,491,653	△ 70,962,174	93.4%
医業費用	925,459,853	991,836,450	△ 66,376,597	93.3%
医業外費用	72,069,626	76,655,203	△ 4,585,577	94.0%
経常損益	△ 63,926,022	13,331,587	△ 77,257,609	-
純損益	△ 63,926,022	13,331,587	△ 77,257,609	-

(注) 平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、収益面では入院及び外来収益などが、費用面では病院の直接的な運営経費の給与費や材料費などが含まれていない。



(4) 中期経営計画における平成30年度の目標及び実績値

中期経営計画における目標達成状況は、次のとおりである。

目標項目		平成29年度 実績	平成30年度 目標	平成30年度 実績
1 診療機能の回復・ 充実 等に向けた取組	(1) 診療機能の回復・充実			
	1日平均入院患者数 (人/日)	222.7	248.0	198.5
	1日平均外来患者数 (人/日)	321.8	333.0	313.8
	1か月平均救急患者数 (人/月)	487.1	547.0	483.8
	経常収支比率 (%)	98.3	100.0	96.1
	利用者満足度 (%)	75.9	85.0	76.6

(注) 平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、指定管理業務に係る数値目標として設定している。

【参考】県立病院課の中期経営計画における平成30年度の目標及び実績値

目標項目		平成29年度 実績	平成30年度 目標	平成30年度 実績
1 各県立病院に 対する支援	(1) 経常収支等の向上に向けた支援			
	経常収支比率 (%) ※こころの医療センター、一志病院、県立病院課 を合計した値	100.4	101.2	99.7
	医業収支比率 (%) ※同上	67.7	70.8	67.2
	(2) 医師・看護師の確保			
	医師充足率 (%) ※こころの医療センター、一志病院を合計した値	86.2	100.0	87.2
	看護師充足率 (%) ※同上	100.0	100.0	100.0
	(3) 患者満足度の向上			
	患者満足度 (%) ※こころの医療センター、一志病院を合計した値	88.7	94.0	87.0

## 第5 決算諸表

### 1 損益計算書

#### 比較損益計算書（病院事業計）

（単位：円）

科 目	平成30年度	平成29年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	2,796,754,084	2,765,971,910	30,782,174	101.1%
入院収益	2,146,439,773	2,111,428,188	35,011,585	101.7%
外来収益	494,307,712	501,973,372	△ 7,665,660	98.5%
その他医業収益	156,006,599	152,570,350	3,436,249	102.3%
医業費用	5,067,980,892	5,058,106,411	9,874,481	100.2%
給与費	2,896,888,346	2,797,765,996	99,122,350	103.5%
材料費	259,336,160	258,466,722	869,438	100.3%
経 費	1,338,140,841	1,434,450,575	△ 96,309,734	93.3%
減価償却費	545,219,966	548,126,550	△ 2,906,584	99.5%
資産減耗費	17,409,453	8,261,197	9,148,256	210.7%
研究研修費	10,986,126	11,035,371	△ 49,245	99.6%
<b>医業損益</b>	<b>△ 2,271,226,808</b>	<b>△ 2,292,134,501</b>	<b>20,907,693</b>	<b>-</b>
医業外収益	2,421,944,909	2,570,554,052	△ 148,609,143	94.2%
受取利息配当金	130,698	130,874	△ 176	99.9%
他会計補助金	151,033,000	162,951,000	△ 11,918,000	92.7%
長期前受金戻入 補助金	233,803,848	231,741,415	2,062,433	100.9%
負担金・交付金	3,969,000	4,040,000	△ 71,000	98.2%
その他医業外収益	1,846,616,000	1,904,145,000	△ 57,529,000	97.0%
その他医業外収益	186,392,363	267,545,763	△ 81,153,400	69.7%
医業外費用	226,051,726	248,301,027	△ 22,249,301	91.0%
支払利息及び企業債取扱諸費	111,017,263	120,466,012	△ 9,448,749	92.2%
患者外給食材料費	175,756	247,576	△ 71,820	71.0%
長期前払消費税償却	33,535,291	43,509,745	△ 9,974,454	77.1%
雑損失	81,323,416	84,077,694	△ 2,754,278	96.7%
<b>経常損益</b>	<b>△ 75,333,625</b>	<b>30,118,524</b>	<b>△ 105,452,149</b>	<b>-</b>
<b>当年度純損益</b>	<b>△ 75,333,625</b>	<b>30,118,524</b>	<b>△ 105,452,149</b>	<b>-</b>
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	△ 9,165,987,297	△ 9,196,105,821	30,118,524	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	△ 9,241,320,922	△ 9,165,987,297	△ 75,333,625	-

（注）1 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

2 志摩病院分については、平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、収益面では入院及び外来収益などが、費用面では病院の直接的な運営経費の給与費や材料費などが含まれていない。

## 比較損益計算書（こころの医療センター）

（単位：円）

科 目	平成30年度	平成29年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	2,107,473,823	2,101,767,012	5,706,811	100.3%
入院収益	1,746,285,711	1,732,982,076	13,303,635	100.8%
外来収益	334,153,541	344,513,099	△ 10,359,558	97.0%
その他医業収益	27,034,571	24,271,837	2,762,734	111.4%
医業費用	3,121,573,970	3,074,593,146	46,980,824	101.5%
給与費	2,204,070,330	2,153,623,913	50,446,417	102.3%
材料費	194,105,520	198,090,618	△ 3,985,098	98.0%
経 費	531,436,982	536,897,462	△ 5,460,480	99.0%
減価償却費	174,285,972	176,817,215	△ 2,531,243	98.6%
資産減耗費	8,917,521	1,164,912	7,752,609	765.5%
研究研修費	8,757,645	7,999,026	758,619	109.5%
<b>医業損益</b>	<b>△ 1,014,100,147</b>	<b>△ 972,826,134</b>	<b>△ 41,274,013</b>	<b>-</b>
医業外収益	1,052,641,519	1,047,023,272	5,618,247	100.5%
受取利息配当金	0	0	0	-
他会計補助金	98,929,000	110,830,000	△ 11,901,000	89.3%
長期前受金戻入 補助金	89,608,349	88,190,886	1,417,463	101.6%
負担金・交付金	1,810,000	2,030,000	△ 220,000	89.2%
その他医業外収益	841,533,000	825,251,000	16,282,000	102.0%
その他医業外収益	20,761,170	20,721,386	39,784	100.2%
医業外費用	132,678,499	148,755,169	△ 16,076,670	89.2%
支払利息及び企業債取扱諸費	57,606,867	62,283,048	△ 4,676,181	92.5%
患者外給食材料費	0	0	0	-
長期前払消費税償却	14,697,698	25,053,224	△ 10,355,526	58.7%
雑損失	60,373,934	61,418,897	△ 1,044,963	98.3%
<b>経常損益</b>	<b>△ 94,137,127</b>	<b>△ 74,558,031</b>	<b>△ 19,579,096</b>	<b>-</b>
<b>当年度純損益</b>	<b>△ 94,137,127</b>	<b>△ 74,558,031</b>	<b>△ 19,579,096</b>	<b>-</b>
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	△ 3,028,365,485	△ 2,953,807,454	△ 74,558,031	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	△ 3,122,502,612	△ 3,028,365,485	△ 94,137,127	-

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

## 比較損益計算書（一志病院）

（単位：円）

科 目	平成30年度	平成29年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	676,069,128	649,443,964	26,625,164	104.1%
入院収益	400,154,062	378,446,112	21,707,950	105.7%
外来収益	160,154,171	157,460,273	2,693,898	101.7%
その他医業収益	115,760,895	113,537,579	2,223,316	102.0%
医業費用	915,892,241	891,313,421	24,578,820	102.8%
給与費	593,523,854	551,281,966	42,241,888	107.7%
材料費	65,230,640	60,376,104	4,854,536	108.0%
経 費	189,743,832	215,024,370	△ 25,280,538	88.2%
減価償却費	62,838,536	60,703,327	2,135,209	103.5%
資産減耗費	2,906,334	1,772,168	1,134,166	164.0%
研究研修費	1,649,045	2,155,486	△ 506,441	76.5%
<b>医業損益</b>	<b>△ 239,823,113</b>	<b>△ 241,869,457</b>	<b>2,046,344</b>	<b>-</b>
医業外収益	343,275,676	353,975,069	△ 10,699,393	97.0%
受取利息配当金	0	0	0	-
他会計補助金	24,692,000	26,025,000	△ 1,333,000	94.9%
長期前受金戻入 補助金	15,106,027 0	13,586,738 0	1,519,289 0	111.2% -
負担金・交付金	301,929,000	312,325,000	△ 10,396,000	96.7%
その他医業外収益	1,548,649	2,038,331	△ 489,682	76.0%
医業外費用	20,723,039	20,760,644	△ 37,605	99.8%
支払利息及び企業債取扱諸費	883,363	940,431	△ 57,068	93.9%
患者外給食材料費	175,756	247,576	△ 71,820	71.0%
長期前払消費税償却	2,576,461	2,413,842	162,619	106.7%
雑損失	17,087,459	17,158,795	△ 71,336	99.6%
<b>経常損益</b>	<b>82,729,524</b>	<b>91,344,968</b>	<b>△ 8,615,444</b>	<b>90.6%</b>
<b>当年度純損益</b>	<b>82,729,524</b>	<b>91,344,968</b>	<b>△ 8,615,444</b>	<b>90.6%</b>
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	△ 719,761,922	△ 811,106,890	91,344,968	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	△ 637,032,398	△ 719,761,922	82,729,524	-

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

## 比較損益計算書（志摩病院）

（単位：円）

科 目	平成30年度	平成29年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	13,211,133	14,760,934	△ 1,549,801	89.5%
入院収益	0	0	0	-
外来収益	0	0	0	-
その他医業収益	13,211,133	14,760,934	△ 1,549,801	89.5%
医業費用	925,459,853	991,836,450	△ 66,376,597	93.3%
給与費	0	0	0	-
材料費	0	0	0	-
経 費	613,247,658	677,572,964	△ 64,325,306	90.5%
減価償却費	306,626,597	308,961,989	△ 2,335,392	99.2%
資産減耗費	5,585,598	5,301,497	284,101	105.4%
研究研修費	0	0	0	-
<b>医業損益</b>	<b>△ 912,248,720</b>	<b>△ 977,075,516</b>	<b>64,826,796</b>	<b>-</b>
医業外収益	920,392,324	1,067,062,306	△ 146,669,982	86.3%
受取利息配当金	0	0	0	-
他会計補助金	0	0	0	-
長期前受金戻入 補助金	128,420,142	129,294,461	△ 874,319	99.3%
負担金・交付金	2,159,000	2,010,000	149,000	107.4%
その他医業外収益	625,840,000	690,989,000	△ 65,149,000	90.6%
その他医業外収益	163,973,182	244,768,845	△ 80,795,663	67.0%
医業外費用	72,069,626	76,655,203	△ 4,585,577	94.0%
支払利息及び企業債取扱諸費	52,481,551	57,194,349	△ 4,712,798	91.8%
患者外給食材料費	0	0	0	-
長期前払消費税償却	16,134,240	15,917,272	216,968	101.4%
雑損失	3,453,835	3,543,582	△ 89,747	97.5%
<b>経常損益</b>	<b>△ 63,926,022</b>	<b>13,331,587</b>	<b>△ 77,257,609</b>	<b>-</b>
<b>当年度純損益</b>	<b>△ 63,926,022</b>	<b>13,331,587</b>	<b>△ 77,257,609</b>	<b>-</b>
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	△ 5,417,859,890	△ 5,431,191,477	13,331,587	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	△ 5,481,785,912	△ 5,417,859,890	△ 63,926,022	-

（注）1 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

2 平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、収益面では入院及び外来収益などが、費用面では病院の直接的な運営経費の給与費や材料費などが含まれていない。

## 比較損益計算書（県立病院課）

（単位：円）

科 目	平成30年度	平成29年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	0	0	0	-
入院収益	0	0	0	-
外来収益	0	0	0	-
その他医業収益	0	0	0	-
医業費用	105,054,828	100,363,394	4,691,434	104.7%
給与費	99,294,162	92,860,117	6,434,045	106.9%
材料費	0	0	0	-
経 費	3,712,369	4,955,779	△ 1,243,410	74.9%
減価償却費	1,468,861	1,644,019	△ 175,158	89.3%
資産減耗費	0	22,620	△ 22,620	皆減
研究研修費	579,436	880,859	△ 301,423	65.8%
<b>医業損益</b>	<b>△ 105,054,828</b>	<b>△ 100,363,394</b>	<b>△ 4,691,434</b>	<b>-</b>
医業外収益	105,635,390	102,493,405	3,141,985	103.1%
受取利息配当金	130,698	130,874	△ 176	99.9%
他会計補助金	27,412,000	26,096,000	1,316,000	105.0%
長期前受金戻入 補助金	669,330 0	669,330 0	0 0	100.0% -
負担金・交付金	77,314,000	75,580,000	1,734,000	102.3%
その他医業外収益	109,362	17,201	92,161	635.8%
医業外費用	580,562	2,130,011	△ 1,549,449	27.3%
支払利息及び企業債取扱諸費	45,482	48,184	△ 2,702	94.4%
患者外給食材料費	0	0	0	-
長期前払消費税償却	126,892	125,407	1,485	101.2%
雑損失	408,188	1,956,420	△ 1,548,232	20.9%
<b>経常損益</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-</b>
<b>当年度純損益</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-</b>
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	0	0	0	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	0	0	0	-

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。



## 2 貸借対照表

### 比較貸借対照表（病院事業計）

（単位：円）

科 目	平成30年度		平成29年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	8,727,005,599	87.4%	8,793,601,528	85.8%	△ 66,595,929	99.2%
有形固定資産	8,462,258,833	84.7%	8,531,017,883	83.3%	△ 68,759,050	99.2%
土地	490,665,273	4.9%	490,665,273	4.8%	0	100.0%
建物	6,776,561,293	67.8%	6,760,636,827	66.0%	15,924,466	100.2%
構築物	361,812,964	3.6%	388,825,648	3.8%	△ 27,012,684	93.1%
器械備品	819,916,977	8.2%	791,127,355	7.7%	28,789,622	103.6%
車両	5,294,648	0.1%	4,251,591	0.0%	1,043,057	124.5%
建設仮勘定	8,007,678	0.1%	95,511,189	0.9%	△ 87,503,511	8.4%
無形固定資産	2,317,894	0.0%	2,334,393	0.0%	△ 16,499	99.3%
電話加入権	2,298,889	0.0%	2,298,889	0.0%	0	100.0%
その他無形 固定資産	19,005	0.0%	35,504	0.0%	△ 16,499	53.5%
投資その他の資産	262,428,872	2.6%	260,249,252	2.5%	2,179,620	100.8%
長期貸付金	1,200,000	0.0%	3,000,000	0.0%	△ 1,800,000	40.0%
長期前払消費税	261,058,872	2.6%	257,079,252	2.5%	3,979,620	101.5%
その他投資	170,000	0.0%	170,000	0.0%	0	100.0%
流動資産	1,262,893,260	12.6%	1,450,317,388	14.2%	△ 187,424,128	87.1%
現金預金	784,033,327	7.8%	923,724,093	9.0%	△ 139,690,766	84.9%
未収金	468,124,360	4.7%	506,671,654	4.9%	△ 38,547,294	92.4%
貯蔵品	7,413,866	0.1%	5,624,340	0.1%	1,789,526	131.8%
前払費用	200,000	0.0%	200,000	0.0%	0	100.0%
前払金	121,707	0.0%	11,097,301	0.1%	△ 10,975,594	1.1%
その他流動資産	3,000,000	0.0%	3,000,000	0.0%	0	100.0%
<b>資産合計</b>	<b>9,989,898,859</b>	<b>100.0%</b>	<b>10,243,918,916</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 254,020,057</b>	<b>97.5%</b>
固定負債	13,213,841,399	132.3%	13,430,538,332	131.1%	△ 216,696,933	98.4%
企業債	6,466,658,819	64.7%	6,638,696,239	64.8%	△ 172,037,420	97.4%
他会計借入金	5,420,592,278	54.3%	5,510,592,278	53.8%	△ 90,000,000	98.4%
引当金	1,326,590,302	13.3%	1,281,249,815	12.5%	45,340,487	103.5%
流動負債	1,190,490,633	11.9%	1,290,549,284	12.6%	△ 100,058,651	92.2%
企業債	686,537,420	6.9%	648,236,099	6.3%	38,301,321	105.9%
引当金	173,571,000	1.7%	165,506,000	1.6%	8,065,000	104.9%
未払金	320,474,831	3.2%	467,156,942	4.6%	△ 146,682,111	68.6%
未払消費税及び 地方消費税	1,968,800	0.0%	1,809,300	0.0%	159,500	108.8%
その他流動負債	7,938,582	0.1%	7,840,943	0.1%	97,639	101.2%
繰延収益	3,143,923,999	31.5%	3,005,854,847	29.3%	138,069,152	104.6%
長期前受金	3,143,923,999	31.5%	3,005,854,847	29.3%	138,069,152	104.6%
<b>負債合計</b>	<b>17,548,256,031</b>	<b>175.7%</b>	<b>17,726,942,463</b>	<b>173.0%</b>	<b>△ 178,686,432</b>	<b>99.0%</b>
資本金	311,409,778	3.1%	311,409,778	3.0%	0	100.0%
剰余金	△ 7,869,766,950	△78.8%	△ 7,794,433,325	△76.1%	△ 75,333,625	-
資本剰余金	1,371,553,972	13.7%	1,371,553,972	13.4%	0	100.0%
利益剰余金 （△は欠損金）	△ 9,241,320,922	△92.5%	△ 9,165,987,297	△89.5%	△ 75,333,625	-
<b>資本合計</b>	<b>△ 7,558,357,172</b>	<b>△75.7%</b>	<b>△ 7,483,023,547</b>	<b>△73.0%</b>	<b>△ 75,333,625</b>	<b>-</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>9,989,898,859</b>	<b>100.0%</b>	<b>10,243,918,916</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 254,020,057</b>	<b>97.5%</b>

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

## 比較貸借対照表（こころの医療センター）

（単位：円）

科 目	平成30年度		平成29年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	4,022,774,268	80.1%	3,997,794,333	78.6%	24,979,935	100.6%
有形固定資産	3,959,237,585	78.9%	3,935,266,338	77.4%	23,971,247	100.6%
土地	298,015,082	5.9%	298,015,082	5.9%	0	100.0%
建物	3,390,161,151	67.5%	3,337,092,089	65.6%	53,069,062	101.6%
構築物	100,088,937	2.0%	108,454,183	2.1%	△ 8,365,246	92.3%
器械備品	167,089,130	3.3%	144,054,984	2.8%	23,034,146	116.0%
車両	3,883,285	0.1%	2,585,368	0.1%	1,297,917	150.2%
建設仮勘定	0	0.0%	45,064,632	0.9%	△ 45,064,632	皆減
無形固定資産	462,705	0.0%	479,204	0.0%	△ 16,499	96.6%
電話加入権	443,700	0.0%	443,700	0.0%	0	100.0%
その他無形 固定資産	19,005	0.0%	35,504	0.0%	△ 16,499	53.5%
投資その他の資産	63,073,978	1.3%	62,048,791	1.2%	1,025,187	101.7%
長期貸付金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
長期前払消費税	62,903,978	1.3%	61,878,791	1.2%	1,025,187	101.7%
その他投資	170,000	0.0%	170,000	0.0%	0	100.0%
流動資産	997,362,018	19.9%	1,086,148,668	21.4%	△ 88,786,650	91.8%
現金預金	634,097,726	12.6%	712,060,826	14.0%	△ 77,963,100	89.1%
未収金	358,229,719	7.1%	360,255,859	7.1%	△ 2,026,140	99.4%
貯蔵品	4,712,866	0.1%	2,534,682	0.0%	2,178,184	185.9%
前払費用	200,000	0.0%	200,000	0.0%	0	100.0%
前払金	121,707	0.0%	11,097,301	0.2%	△ 10,975,594	1.1%
その他流動資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
<b>資産合計</b>	<b>5,020,136,286</b>	<b>100.0%</b>	<b>5,083,943,001</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 63,806,715</b>	<b>98.7%</b>
固定負債	5,780,913,741	115.2%	5,906,420,804	116.2%	△ 125,507,063	97.9%
企業債	3,513,672,257	70.0%	3,663,427,296	72.1%	△ 149,755,039	95.9%
他会計借入金	1,235,553,818	24.6%	1,235,553,818	24.3%	0	100.0%
引当金	1,031,687,666	20.6%	1,007,439,690	19.8%	24,247,976	102.4%
流動負債	703,638,772	14.0%	679,381,948	13.4%	24,256,824	103.6%
企業債	357,255,039	7.1%	341,798,662	6.7%	15,456,377	104.5%
引当金	131,740,000	2.6%	125,201,000	2.5%	6,539,000	105.2%
未払金	211,572,917	4.2%	209,936,330	4.1%	1,636,587	100.8%
未払消費税及び 地方消費税	111,408	0.0%	139,141	0.0%	△ 27,733	80.1%
その他流動負債	2,959,408	0.1%	2,306,815	0.0%	652,593	128.3%
繰延収益	1,467,912,855	29.2%	1,336,332,204	26.3%	131,580,651	109.8%
長期前受金	1,467,912,855	29.2%	1,336,332,204	26.3%	131,580,651	109.8%
<b>負債合計</b>	<b>7,952,465,368</b>	<b>158.4%</b>	<b>7,922,134,956</b>	<b>155.8%</b>	<b>30,330,412</b>	<b>100.4%</b>
資本金	188,628,538	3.8%	188,628,538	3.7%	0	100.0%
剰余金	△ 3,120,957,620	△62.2%	△ 3,026,820,493	△59.5%	△ 94,137,127	-
資本剰余金	1,544,992	0.0%	1,544,992	0.0%	0	100.0%
利益剰余金 （△は欠損金）	△ 3,122,502,612	△62.2%	△ 3,028,365,485	△59.6%	△ 94,137,127	-
<b>資本合計</b>	<b>△ 2,932,329,082</b>	<b>△58.4%</b>	<b>△ 2,838,191,955</b>	<b>△55.8%</b>	<b>△ 94,137,127</b>	<b>-</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>5,020,136,286</b>	<b>100.0%</b>	<b>5,083,943,001</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 63,806,715</b>	<b>98.7%</b>

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

## 比較貸借対照表（一志病院）

（単位：円）

科 目	平成30年度		平成29年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	754,492,582	57.0%	726,903,344	61.6%	27,589,238	103.8%
有形固定資産	722,777,123	54.6%	699,386,324	59.3%	23,390,799	103.3%
土地	39,881,445	3.0%	39,881,445	3.4%	0	100.0%
建物	539,409,215	40.7%	519,503,917	44.1%	19,905,298	103.8%
構築物	43,235,044	3.3%	45,850,198	3.9%	△ 2,615,154	94.3%
器械備品	99,135,279	7.5%	93,238,764	7.9%	5,896,515	106.3%
車両	1,116,140	0.1%	912,000	0.1%	204,140	122.4%
建設仮勘定	0	0.0%	0	0.0%	0	-
無形固定資産	420,200	0.0%	420,200	0.0%	0	100.0%
電話加入権	420,200	0.0%	420,200	0.0%	0	100.0%
その他無形 固定資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
投資その他の資産	31,295,259	2.4%	27,096,820	2.3%	4,198,439	115.5%
長期貸付金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
長期前払消費税	31,295,259	2.4%	27,096,820	2.3%	4,198,439	115.5%
その他投資	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動資産	570,106,384	43.0%	452,241,126	38.4%	117,865,258	126.1%
現金預金	458,709,250	34.6%	304,946,770	25.9%	153,762,480	150.4%
未収金	108,696,134	8.2%	144,204,698	12.2%	△ 35,508,564	75.4%
貯蔵品	2,701,000	0.2%	3,089,658	0.3%	△ 388,658	87.4%
前払費用	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他流動資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
<b>資産合計</b>	<b>1,324,598,966</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,179,144,470</b>	<b>100.0%</b>	<b>145,454,496</b>	<b>112.3%</b>
固定負債	1,595,454,760	120.4%	1,516,960,797	128.6%	78,493,963	105.2%
企業債	257,349,132	19.4%	198,186,239	16.8%	59,162,893	129.9%
他会計借入金	1,052,274,152	79.4%	1,052,274,152	89.2%	0	100.0%
引当金	285,831,476	21.6%	266,500,406	22.6%	19,331,070	107.3%
流動負債	149,957,477	11.3%	163,658,441	13.9%	△ 13,700,964	91.6%
企業債	35,737,107	2.7%	31,786,241	2.7%	3,950,866	112.4%
引当金	30,528,000	2.3%	29,404,000	2.5%	1,124,000	103.8%
未払金	80,509,125	6.1%	98,743,119	8.4%	△ 18,233,994	81.5%
未払消費税及び 地方消費税	1,310,747	0.1%	1,198,349	0.1%	112,398	109.4%
その他流動負債	1,872,498	0.1%	2,526,732	0.2%	△ 654,234	74.1%
繰延収益	168,842,706	12.7%	170,910,733	14.5%	△ 2,068,027	98.8%
長期前受金	168,842,706	12.7%	170,910,733	14.5%	△ 2,068,027	98.8%
<b>負債合計</b>	<b>1,914,254,943</b>	<b>144.5%</b>	<b>1,851,529,971</b>	<b>157.0%</b>	<b>62,724,972</b>	<b>103.4%</b>
資本金	36,867,441	2.8%	36,867,441	3.1%	0	100.0%
剰余金	△ 626,523,418	△47.3%	△ 709,252,942	△60.1%	82,729,524	-
資本剰余金	10,508,980	0.8%	10,508,980	0.9%	0	100.0%
利益剰余金 （△は欠損金）	△ 637,032,398	△48.1%	△ 719,761,922	△61.0%	82,729,524	-
<b>資本合計</b>	<b>△ 589,655,977</b>	<b>△44.5%</b>	<b>△ 672,385,501</b>	<b>△57.0%</b>	<b>82,729,524</b>	<b>-</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>1,324,598,966</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,179,144,470</b>	<b>100.0%</b>	<b>145,454,496</b>	<b>112.3%</b>

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

## 比較貸借対照表（志摩病院）

（単位：円）

科 目	平成30年度		平成29年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	3,941,839,735	109.7%	4,061,375,130	105.4%	△ 119,535,395	97.1%
有形固定資産	3,774,980,302	105.1%	3,893,132,537	101.1%	△ 118,152,235	97.0%
土地	152,768,746	4.3%	152,768,746	4.0%	0	100.0%
建物	2,846,990,927	79.3%	2,904,040,821	75.4%	△ 57,049,894	98.0%
構築物	218,488,983	6.1%	234,521,267	6.1%	△ 16,032,284	93.2%
器械備品	548,428,745	15.3%	550,600,923	14.3%	△ 2,172,178	99.6%
車両	295,223	0.0%	754,223	0.0%	△ 459,000	39.1%
建設仮勘定	8,007,678	0.2%	50,446,557	1.3%	△ 42,438,879	15.9%
無形固定資産	1,434,989	0.0%	1,434,989	0.0%	0	100.0%
電話加入権	1,434,989	0.0%	1,434,989	0.0%	0	100.0%
その他無形 固定資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
投資その他の資産	165,424,444	4.6%	166,807,604	4.3%	△ 1,383,160	99.2%
長期貸付金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
長期前払消費税	165,424,444	4.6%	166,807,604	4.3%	△ 1,383,160	99.2%
その他投資	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動資産	△ 349,966,413	△9.7%	△ 209,678,420	△5.4%	△ 140,287,993	166.9%
現金預金	△ 351,154,920	△9.8%	△ 211,239,517	△5.5%	△ 139,915,403	166.2%
未収金	1,188,507	0.0%	1,561,097	0.0%	△ 372,590	76.1%
貯蔵品	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払費用	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他流動資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
<b>資産合計</b>	<b>3,591,873,322</b>	<b>100.0%</b>	<b>3,851,696,710</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 259,823,388</b>	<b>93.3%</b>
固定負債	5,812,509,431	161.8%	5,897,654,705	153.1%	△ 85,145,274	98.6%
企業債	2,691,937,430	74.9%	2,777,082,704	72.1%	△ 85,145,274	96.9%
他会計借入金	3,120,572,001	86.9%	3,120,572,001	81.0%	0	100.0%
引当金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動負債	309,212,056	8.6%	428,177,006	11.1%	△ 118,964,950	72.2%
企業債	293,545,274	8.2%	272,626,196	7.1%	20,919,078	107.7%
引当金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
未払金	15,114,117	0.4%	155,074,907	4.0%	△ 139,960,790	9.7%
未払消費税及び 地方消費税	552,665	0.0%	475,903	0.0%	76,762	116.1%
その他流動負債	0	0.0%	0	0.0%	0	-
繰延収益	1,506,523,948	41.9%	1,498,311,090	38.9%	8,212,858	100.5%
長期前受金	1,506,523,948	41.9%	1,498,311,090	38.9%	8,212,858	100.5%
<b>負債合計</b>	<b>7,628,245,435</b>	<b>212.4%</b>	<b>7,824,142,801</b>	<b>203.1%</b>	<b>△ 195,897,366</b>	<b>97.5%</b>
資本金	85,913,799	2.4%	85,913,799	2.2%	0	100.0%
剰余金	△ 4,122,285,912	△114.8%	△ 4,058,359,890	△105.4%	△ 63,926,022	-
資本剰余金	1,359,500,000	37.8%	1,359,500,000	35.3%	0	100.0%
利益剰余金 （△は欠損金）	△ 5,481,785,912	△152.6%	△ 5,417,859,890	△140.7%	△ 63,926,022	-
<b>資本合計</b>	<b>△ 4,036,372,113</b>	<b>△112.4%</b>	<b>△ 3,972,446,091</b>	<b>△103.1%</b>	<b>△ 63,926,022</b>	<b>-</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>3,591,873,322</b>	<b>100.0%</b>	<b>3,851,696,710</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 259,823,388</b>	<b>93.3%</b>

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

## 比較貸借対照表（県立病院課）

（単位：円）

科 目	平成30年度		平成29年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構 成 比 率	金 額	構 成 比 率		
固定資産	7,899,014	14.8%	7,528,721	5.8%	370,293	104.9%
有形固定資産	5,263,823	9.9%	3,232,684	2.5%	2,031,139	162.8%
土地	0	0.0%	0	0.0%	0	-
建物	0	0.0%	0	0.0%	0	-
構築物	0	0.0%	0	0.0%	0	-
器械備品	5,263,823	9.9%	3,232,684	2.5%	2,031,139	162.8%
車両	0	0.0%	0	0.0%	0	-
建設仮勘定	0	0.0%	0	0.0%	0	-
無形固定資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
電話加入権	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他無形 固定資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
投資その他の資産	2,635,191	4.9%	4,296,037	3.3%	△ 1,660,846	61.3%
長期貸付金	1,200,000	2.3%	3,000,000	2.3%	△ 1,800,000	40.0%
長期前払消費税	1,435,191	2.7%	1,296,037	1.0%	139,154	110.7%
その他投資	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動資産	45,391,271	85.2%	121,606,014	94.2%	△ 76,214,743	37.3%
現金預金	42,381,271	79.5%	117,956,014	91.3%	△ 75,574,743	35.9%
未収金	10,000	0.0%	650,000	0.5%	△ 640,000	1.5%
貯蔵品	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払費用	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他流動資産	3,000,000	5.6%	3,000,000	2.3%	0	100.0%
<b>資産合計</b>	<b>53,290,285</b>	<b>100.0%</b>	<b>129,134,735</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 75,844,450</b>	<b>41.3%</b>
固定負債	24,963,467	46.8%	109,502,026	84.8%	△ 84,538,559	22.8%
企業債	3,700,000	6.9%	0	0.0%	3,700,000	皆増
他会計借入金	12,192,307	22.9%	102,192,307	79.1%	△ 90,000,000	11.9%
引当金	9,071,160	17.0%	7,309,719	5.7%	1,761,441	124.1%
流動負債	27,682,328	51.9%	19,331,889	15.0%	8,350,439	143.2%
企業債	0	0.0%	2,025,000	1.6%	△ 2,025,000	皆減
引当金	11,303,000	21.2%	10,901,000	8.4%	402,000	103.7%
未払金	13,278,672	24.9%	3,402,586	2.6%	9,876,086	390.3%
未払消費税及び 地方消費税	△ 6,020	0.0%	△ 4,093	0.0%	△ 1,927	147.1%
その他流動負債	3,106,676	5.8%	3,007,396	2.3%	99,280	103.3%
繰延収益	644,490	1.2%	300,820	0.2%	343,670	214.2%
長期前受金	644,490	1.2%	300,820	0.2%	343,670	214.2%
<b>負債合計</b>	<b>53,290,285</b>	<b>100.0%</b>	<b>129,134,735</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 75,844,450</b>	<b>41.3%</b>
資本金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
剰余金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
資本剰余金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
利益剰余金 （△は欠損金）	0	0.0%	0	0.0%	0	-
<b>資本合計</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>	<b>0</b>	<b>-</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>53,290,285</b>	<b>100.0%</b>	<b>129,134,735</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 75,844,450</b>	<b>41.3%</b>

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

業務実績表

区分	実				績				すう勢比率			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
こころのセンター	延べ入院患者数 (人)	102,748	101,950	103,904	99,207	100,216	100.0	99.2	101.1	96.6	97.5	
	延べ外来患者 (人)	63,471	61,920	61,611	56,827	53,971	100.0	97.6	97.1	89.5	85.0	
	計	166,219	163,870	165,515	156,034	154,187	100.0	98.6	99.6	93.9	92.8	
一志病院	入院外来収益 (千円)	2,123,652	2,214,789	2,185,598	2,077,495	2,080,439	100.0	104.3	102.9	97.8	98.0	
	延べ入院患者数 (人)	12,305	13,203	13,903	14,444	14,353	100.0	107.3	113.0	117.4	116.6	
	延べ外来患者数 (人)	21,565	21,255	20,688	19,308	19,364	100.0	98.6	95.9	89.5	89.8	
計	33,870	34,458	34,591	33,752	33,717	100.0	101.7	102.1	99.7	99.5		
志摩病院	入院外来収益 (千円)	479,085	487,274	518,408	535,906	560,308	100.0	101.7	108.2	111.9	117.0	
	延べ入院患者数 (人)	75,077	74,697	81,177	81,273	72,447	100.0	99.5	108.1	108.3	96.5	
	延べ外来患者数 (人)	75,127	77,188	78,159	78,507	76,577	100.0	102.7	104.0	104.5	101.9	
計	150,204	151,885	159,336	159,780	149,024	100.0	101.1	106.1	106.4	99.2		
計	入院外来収益 (千円)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	延べ入院患者数 (人)	190,130	189,850	198,984	194,924	187,016	100.0	99.9	104.7	102.5	98.4	
	延べ外来患者数 (人)	160,163	160,363	160,458	154,642	149,912	100.0	100.1	100.2	96.6	93.6	
計	350,293	350,213	359,442	349,566	336,928	100.0	100.0	102.6	99.8	96.2		

(注) 1 本表の数値は、総務省決算統計データに基づき算出している。  
 2 志摩病院については、平成24年度から指定管理者制度を導入しているため、算出していない項目がある。

業務分析表

区分	こころの医療センター				一志病院				志摩病院				備考
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	全国同規模病院(H29)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	全国同規模病院(H29)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	全国同規模病院(H29)	
病床数・利用率	許可病床数(床)	348	348	348	86	86	86	-	350	336	336	-	病床利用率 年延入院患者数 入院病床数
	病床利用率(%)	81.8	78.1	78.9	70.4	44.3	46.0	45.7	63.5	66.3	59.1	72.8	
うち一般	許可病床数(床)	-	-	-	-	46	46	46	250	236	236	-	病床利用率 年延入院患者数 入院病床数
	病床利用率(%)	-	-	-	-	82.8	86.0	85.5	52.6	58.8	50.8	75.1	
うち精神	許可病床数(床)	348	348	348	-	-	-	-	100	100	100	-	病床利用率 年延入院患者数 入院病床数
	病床利用率(%)	81.8	78.1	78.9	70.4	-	-	-	90.8	83.8	78.5	49.8	
患者数	1日平均患者数(人)	285	272	275	182	38	40	39	222	223	199	244	年延入院患者数 入院診療日数 外来診療日数
	入院外来患者比率(%)	59.3	57.3	53.9	51.4	148.8	133.7	134.9	96.3	96.6	105.7	166.2	
医師	入院	16.6	16.1	15.7	13.7	4.4	5.3	5.3	-	-	-	4.5	年延入院患者数 年延医師数
	外来	9.8	9.2	8.4	7.1	6.6	7.1	7.1	-	-	-	7.5	
看護部門職員	入院	1.9	1.7	1.8	1.5	1.1	1.0	1.0	-	-	-	0.9	年延入院患者数 年延看護職員数
	外来	1.1	1.0	1.0	0.8	1.6	1.4	1.4	-	-	-	1.5	
患者1人1日あたり診療収入	入院	17,570	17,468	17,425	19,583	25,717	26,201	27,879	23,630	-	-	46,986	入院収益 年延入院患者数
	外来	5,844	6,062	6,191	8,810	7,776	8,155	8,271	8,407	-	-	12,839	
収入(円)	医師	349,137	336,219	325,527	330,943	164,993	195,872	206,147	322,570	-	-	306,273	入院外来収益 年延医師数
	看護部門職員	39,763	35,308	36,661	35,898	39,516	37,943	40,223	44,033	-	-	59,777	
費用(円)	患者1人1日あたり薬品費	318	518	491	1,072	719	689	731	1,605	-	-	3,317	薬品費(投薬注射) 年延入院外来患者数
	入院患者1人1日あたり給食材料費	787	836	830	359	745	728	731	345	-	-	353	
対医療収益率(%)	薬品費	2.2	3.6	3.3	6.4	3.6	3.2	3.4	10.6	-	-	12.1	患者用給食材料費 年延入院患者数
	その他医療材料費	2.5	1.5	1.6	1.1	3.7	3.7	4.1	5.8	-	-	11.7	
他会計繰入金	41.4	44.9	45.1	52.8	50.5	49.9	47.2	30.6	-	-	-	12.9	他会計繰入金 医療収益

(注) 1 本表の数値は、総務省決算統計データに基づき算出している。  
 2 全国同規模病院(H29)は、「平成29年度地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)」より、「こころの医療センターは「精神科病院」、一志病院は「50床以上100床未満」、志摩病院は「300床以上400床未満」の平均を引用している。(許可病床が同規模の病院と比較)  
 3 病床数・病床利用率の計は、療養病床・結核病床・感染症病床を含む。  
 4 志摩病院については、平成24年度から指定管理者制度を導入しているため、算出していない項目がある。





平成 30 年度三重県公営企業会計（病院事業庁）  
決算審査意見書

令和元年 9 月

三重県監査委員事務局  
〒514-0004 津市栄町 1 丁目 954 番地  
電話(059)224-2924